

新・相模原市総合計画の振り返り

(平成22年度～令和元年度)

令和3年4月

相模原市

目次

第1章 新・相模原市総合計画について	1
1 構成・計画期間.....	1
2 基本構想の概要.....	1
3 基本計画の概要.....	2
4 進行管理について	3
第2章 新・相模原市総合計画の取組の成果	5
1 成果指標等の達成度.....	5
2 政策の基本方向ごとの総括評価	5
基本目標 誰もが安全でいきいきと暮らせる安心・福祉都市.....	6
基本目標 学びあい 人と地域をはぐくむ教育・文化都市	21
基本目標 やすらぎと潤いがあふれる環境共生都市.....	30
基本目標 活力にあふれ多様な交流が生まれる広域交流拠点都市	43
基本目標 市民とともに創る自立分権都市.....	53
まとめ	57

第1章 新・相模原市総合計画について

「新・相模原市総合計画」は平成22年4月の政令指定都市への移行に合わせて策定した総合計画であり、転換期を迎えていた本市が、首都圏南西部に位置する政令指定都市として、地域の発展と、市民に最も身近な基礎自治体として豊かな市民生活の実現と未来のまちづくりを進めるために策定しました。

1 構成・計画期間

新・相模原市総合計画は、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」の3層構成。

(1) 基本構想

将来の都市像と政策の基本方向を定めたもの

内容：「基本理念」、「都市像」、「基本目標」、「政策の基本方向」、「基本構想の推進に向けて」

計画期間：おおむね20年後を目標

(2) 基本計画

都市像を実現するための施策の方向性を定めたもの

内容：「重点プロジェクト」、「施策分野別の基本計画」、「地域づくりの基本計画」、「基本計画の推進に向けて」

計画期間：平成22年度～平成31（令和元）年度（10年間）

(3) 実施計画

基本計画を計画的に推進するための具体的な事業計画

ア．前期実施計画：平成23年度から平成25年度

イ．中期実施計画：平成26年度から平成28年度

ウ．後期実施計画：平成29年度から平成31（令和元）年度

2 基本構想の概要

都市像を「人・自然・産業が共生する 活力あるさがみはら」とし、都市像の実現に向けて次の5つの基本目標と、基本目標ごとに全22の「政策の基本方向」を定めています。

< 基本目標と政策の基本方向の構成 >

基本目標		政策の基本方向	
誰もが安全でいきいきと暮らせる安心・福祉都市	1	あたたかい地域福祉社会をつくれます	
	2	次代を担う子どもが健やかに生まれ育つ社会をつくれます	
	3	高齢者がいきいきと暮らせる社会をつくれます	
	4	障害者がいきいきと暮らせる社会をつくれます	
	5	健康に暮らせる社会をつくれます	
	6	安全で安心して暮らせる社会をつくれます	
学びあい人と地域をはぐくむ教育・文化都市	7	心豊かな子どもをはぐくむ教育環境をつくれます	
	8	生涯を通じ学習する人・スポーツする人を支援する社会をつくれます	
	9	豊かな市民文化を創造する社会をつくれます	

		10	人権と世界平和を尊重し、ともに生きる社会をつくります
やすらぎと潤いがあふれる環境共生都市		11	次代につなぐ持続可能な社会をつくります
		12	限りある資源を大切にす循環型社会をつくります
		13	恵み豊かな自然環境を守り育てます
		14	人にやさしい快適な生活環境をつくります
		15	地域経済と雇用を支える産業を振興します
活力にあふれ多様な交流が生まれる広域交流拠点都市		16	地域の特色を生かした土地利用を進めます
		17	魅力あふれる質の高い都市をつくります
		18	都市を支える交通基盤をつくります
		19	魅力ある景観やゆとりある住環境の形成を図ります
		20	基地全面返還の実現をめざします
市民とともに創る自立分権都市		21	個性豊かな地域コミュニティをつくります
		22	行政サービスの質の向上を図ります

3 基本計画の概要

都市像の実現に向け、特に優先的・重点的な取組として、重点プロジェクトを定めるとともに、分野別に全50の施策を位置づけております。また、施策ごとに、目的や目標を明確にするため、「めざす姿」と、その達成度を具体的に測るため、「成果指標」を設定しています。なお、施策を展開することによる効果は、多様な面を有しており、全体的な評価はないことから、この「成果指標」は、施策の「めざす姿」を評価する一側面を捉えるものとしております。

< 政策の基本方向と施策の構成 >

政策の基本方向	施策	
1	1	地域福祉の推進
	2	援護を必要とする人の生活安定と自立支援
2	3	子どもを生きやすい環境の整備
	4	子育て環境の充実
	5	青少年の健全育成
3	6	高齢者の社会参加の推進
	7	高齢者を支える地域ケア体制の推進
4	8	障害者の自立支援と社会参加
	9	障害児の支援
5	10	健康づくりの推進
	11	医療体制の充実
	12	保健衛生体制の充実
6	13	市民生活の安全・安心の確保
	14	災害対策の推進
	15	消防力の強化

7	16	学校教育の充実
	17	家庭や地域における教育環境の向上
8	18	生涯学習の振興
	19	生涯スポーツの振興
9	20	文化の振興
	21	国際化の推進
10	22	人権尊重・男女共同参画の推進
	23	世界平和の尊重
11	24	地球温暖化対策の推進
	25	環境を守る担い手の育成
12	26	資源循環型社会の形成
	27	廃棄物の適正処理の推進
13	28	水源環境の保全・再生
	29	人と自然が共生する環境の形成
14	30	生活環境の保全
	31	快適な都市空間の創造
15	32	雇用対策と働きやすい環境の整備
	33	地域経済を支える産業基盤の確立
	34	新産業の創出と中小企業の育成・支援
	35	商業・サービス業の振興
	36	都市農業の振興
	37	魅力ある観光の振興
16	38	計画的な土地利用の推進
17	39	広域交流拠点都市にふさわしい都市拠点の形成
	40	新たな産業拠点の形成と地域の拠点の活性化
18	41	広域的な交流を支える交通体系の確立
	42	地域を支える交通環境の充実
	43	公共交通を中心とする交通体系の確立
19	44	魅力ある景観の保全と創造
	45	安全で快適な住環境の形成
20	46	基地の早期返還の実現
21	47	分権型のまちづくりの推進
	48	皆で担うまちづくりの推進
22	49	行政サービス提供体制の充実
	50	市民と行政のコミュニケーションの充実

4 進行管理について

新・相模原市総合計画を効果的かつ効率的に推進するため、成果目標の達成度等を明らかにし、市民に公表することで、継続的な改善活動と総合計画の推進に資することを目的として、

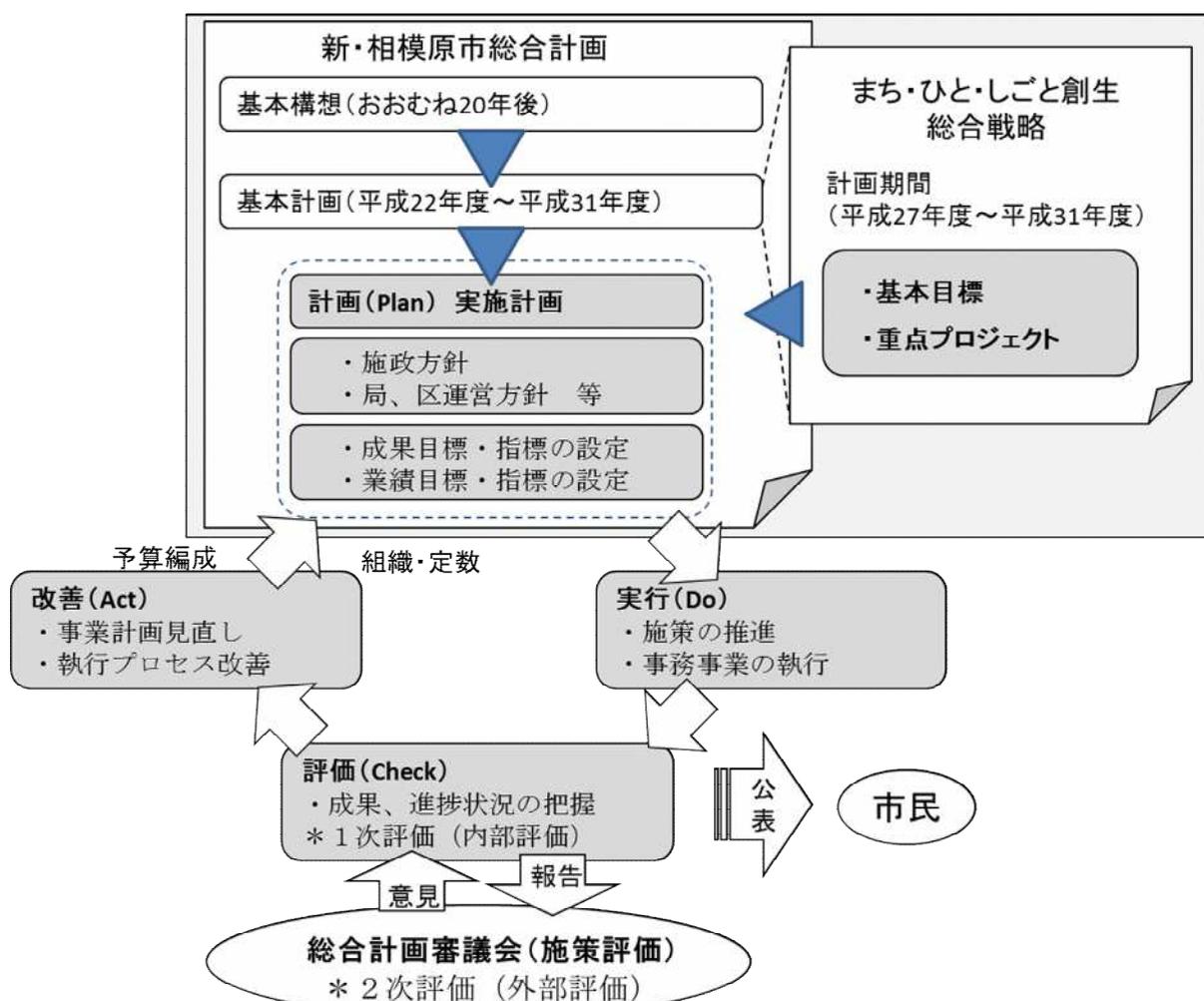
進行管理を実施してきました。

進行管理は「相模原市総合計画進行管理実施方針」に基づき、施策の構成要素である「めざす姿」「取り組みの方向」「成果目標・指標」「主な事業」の体系（Plan）を踏まえ、施策の実施結果（Do）について評価（Check）を行い、以降の改善（Act）につなげていくという、いわゆるPDCA（計画 実行 評価 改善）のマネジメント・サイクルに基づいております。

具体的には、成果指標等で示された施策等の目標の達成度を測る「目標達成度の評価」と施策の目標達成のための施策及び主要事務事業の立案・実施・改善活動を評価する「施策・事務事業の総合評価」を、1次評価（市による自己評価） 2次評価（第三者の立場から1次評価の妥当性を検証するとともに、評価の客観性を高めるため、総合計画審議会が実施）の2段階で実施してきました。なお、総合計画審議会が評価を行う施策は、効果的に評価作業を進めるため、基本計画掲載の全50施策のうち、毎年16～17施策を抽出して実施してきました。

また、2次評価を行った施策のうち、総合計画審議会が選定した施策については、各所管局・区等が改善工程表を作成し、翌年度の進行管理においてモニタリングを実施することにより、改善活動の妥当性について評価を行い、施策・事務事業の円滑な推進を図ってきました。

< 進行管理の仕組みのイメージ（PDCAサイクル） >



第2章 新・相模原市総合計画の取組の成果

1 成果指標等の達成度

「新・相模原市総合計画」では、施策の「めざす姿」を評価する一側面として、「成果指標」を設定しました。「成果指標」は、原則として平成20年度を基準値、平成31年度（令和元年度）を最終目標と定め、全92指標あります。

また、これまで「成果指標」を目安に施策の評価・検証を行い、その結果を市の取組に反映する進行管理を行っておりましたが、「成果指標」の中には、毎年度、実績を捕捉することが困難な指標もあることから、これを補完する指標として「業績評価指標」を設定しています。

「新・相模原市総合計画」に基づく、各施策の取組の成果は次のとおりです。

(1) 成果指標の結果

評価分類	指標数	割合
A評価	39	42.4%
B評価	35	38.0%
C評価	10	10.9%
D評価	4	4.3%
	4	4.3%
合計	92	

A：最終目標を達成
 B：最終目標値を80%以上達成
 C：最終目標値を60%以上達成
 D：最終目標値が60%未満
 -：成果指標の測定が出来ないもの

(2) 業績評価指標の結果

評価分類	指標数	割合
A評価	58	49.6%
B評価	35	29.9%
C評価	13	11.1%
D評価	6	5.1%
	5	4.3%
合計	117	

A：最終目標を達成
 B：最終目標値を80%以上達成
 C：最終目標値を60%以上達成
 D：最終目標値が60%未満
 -：成果指標の測定が出来ないもの

2 政策の基本方向ごとの総括評価

施策ごとに定めた成果指標、業績評価指標で示した施策の達成度は(1)のとおりですが、施策を展開することの効果は、多様な面を有しており、また、市の活動だけではなく、国・県、他の自治体や市民・事業者などの活動や連携・協働により、はじめて効果が生じる施策も多くあります。また、自然災害の発生や社会経済情勢等の外部要因が成果指標等の達成度に影響を与えることも想定されます。そこで、各指標の達成度やこれまでの進行管理の評価結果の推移等を参考として、新・相模原市総合計画基本計画期間の各取組の成果等について、総括評価を行いました。

総括評価は、基本目標ごとに定めた「政策の基本方向」ごとに実施しており、結果は次のとおりです。

基本目標 誰もが安全でいきいきと暮らせる安心・福祉都市

政策の基本方向 1	あたたかい地域福祉社会をつくります	
構成する施策	1	地域福祉の推進
	2	援護を必要とする人の生活安定と自立支援

< 施策の総合評価結果の推移 >

No.	評価	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
施策 1	1次	B	B	B	B	B	B	B	B	B
	2次	C	B			B			B	
施策 2	1次	B	A	A	A	A	A	A	A	A
	2次	B	A			B			A	

< 成果指標の目標と実績 >

施策	指標	指標と説明				
1	1	地域で、住民が互いに支えあっていると感じる市民の割合（％） 住民が福祉活動で互いに支えあっているかを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		29.2	45.8	41.0	89.5%	B
2	2	生活保護を受けている人のうち、自立支援プログラムに参加した人の割合（％） 生活保護受給者が自立に向けて取り組んでいる状況を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		7.5	23.0	23.0	100%	A

< 業績評価指標の目標と実績 >

施策	指標	指標と説明				
1	1-1	ボランティア登録制度（いるかバンク）の登録者数（人） ボランティア意識の高まりを測る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		788	1,000	687	68.7%	C
1	1-2	ノンステップバスの導入率（％） 相模原市内の営業所が保有する全バス車両に占めるノンステップバス車両の割合を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		26.3	52.5	50.0	95.2	B
2	2-1	生活困窮者自立相談支援事業を通じた就労支援により、就職に結びついた人の割合（％） 自立支援相談窓口での就労支援を受けた生活困窮者のうち、実際に就労に結びついた人の割合				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		46.0	50.0	61.5	123.0%	A
2	2-2	学習支援を行った中学3年生の高校進学率（％） 生活保護受給世帯の中学生を対象とした勉強会に参加した中学3年生の高校進学率				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		96.0	96.0	87.5	91.1%	B

< 総合評価 >

あたたかい地域福祉社会の実現に向け、地域主体の福祉コミュニティづくりや福祉ボランティア活動への支援を進めるとともに、誰もが健康で文化的な生活が営めるよう、援護を必要とする人への自立援助に取り組んできた。

地域福祉に関する施策については、コミュニティソーシャルワーカーの配置などによる地域全体で支えあう福祉コミュニティづくりを推進してきたことや、サロンの設置箇所を平成 30 年度の 309 箇所から令和元年度には 316 箇所まで増加してきたことなどによる地域の人々が集える環境づくりへの取組により、成果指標 1「地域で、住民が互いに支えあっていると感じる市民の割合」については、最終実績値が 41.0%と目標値 45.8%には届かなかったものの、基準値である 29.2%（H22）からは 11.8 ポイントの上昇となり、地域での支え合い活動が着実に浸透してきている。

要援護者への自立支援に関する施策については、生活保護受給者に対する就労準備支援、子どもやニート、引きこもり等の若者の学習支援などの自立支援プログラムを推進し、社会的・経済的な自立に向けた支援に取り組んできた。成果指標 2「生活保護を受けている人のうち、自立支援プログラムに参加した人の割合」は最終実績値が 23.0%で、最終目標値 23.0%（12.0%から上方修正）を達成することができた。さらに業績評価指標「生活困窮者自立相談支援事業を通じた就労支援により、就職に結びついた人の割合」は、目標値 50.0%に対して、最終実績値 61.5%であり達成率 123%と大きな成果を上げることができ、取組の効果が十分に得られたものと考えられる。

一方で、業績評価指標「ボランティア登録制度（いるかバンク）の登録者数」や「学習支援を行った中学 3 年生の高校進学率」などで目標値には届かなかったことから、引き続き、ボランティア活動に取り組んでいる人数を増加させる取組を進めるとともに、小学生向けの勉強会を実施するなど、長期的な学習支援の取組を推進していく必要がある。

今後は「未来へつなぐ さがみはらプラン」に基づき、高齢、障害、子育てなどの各福祉分野が連携して支援に取り組むとともに、包括的な支援体制の整備を進める。また、生活に困窮している方の支援については、生活困窮者自立支援相談窓口等において、相談者の状況に寄り添い、安定した生活を行うための住居確保や就労支援などの自立に向けた取組を推進する。

政策の基本方向 2		次代を担う子どもが健やかに生まれ育つ社会をつくります
構成する施策	3	子どもを生まやすい環境の整備
	4	子育て環境の充実
	5	青少年の健全育成

< 施策の総合評価結果の推移 >

No.	評価	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
施策 3	1次	B	A	A	B	A	A	A	A	A
	2次	B		B			A			A
施策 4	1次	B	B	B	B	A	A	B	B	A
	2次	B			B			B		
施策 5	1次	B	A	B	B	B	A	A	A	A
	2次	C	A			B			A	

< 成果指標の目標と実績 >

施策	指標	指標と説明				
3	3	合計特殊出生率 1人の女性が一生に生む子どもの数を示す指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		1.16	1.41	1.25	88.7	B
3	4	子どもを生まやすい環境であると感じている市民の割合 子どもを生まやすい環境が本市に整っているかを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		55.7	60.2	62.3	103.5%	A
4	5	子どもを育てやすい環境であると感じている市民の割合 子どもを育てていく上での環境が本市に整っているかどうかを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		47.3	68.4	56.0	81.9%	B
4	6	子どもを必要ときに預けられる場(人・場所)がある親の割合 子どもを預けられる人や場所が、確保されているかを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		68.7	75.1	66.8	88.9%	B
5	7	不良行為少年補導人数 青少年が健全に生活できているかを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		20,070	2,352	2,400	98.0%	B

< 業績評価指標の目標と実績 >

施策	指標	指標と説明				
3	3-1	乳幼児の健康状況把握率				
		乳幼児の健康、発達、発育等の支援ができているかを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		97.2	100	99.9	99.9%	B
3	3-2	妊娠届出時に保健師と面接している割合				
		妊婦に対して、妊娠初期から早期に保健指導を行うことができているかを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		59.0	87.0	91.7	105.4%	A
4	4-1	保育を必要とする児童が、保育を受けることができる割合（保育所）				
		本市の保育環境が整えられているかを示す指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		99.1	100	99.9	99.9%	B
4	4-2	子育てサポーターの登録者数				
		地域の子育て支援が推進されているかを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		209	248	264	106.5%	A
4	4-3	子どもの安全確認を行った割合				
		虐待相談として把握した子どもについて、直接目視による安全確認を行ったかを示す指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		100	100	87.7	87.7%	B
5	5-1	地域・子どもふれあい事業の参加者の青少年人口に対する割合				
		「地域・子どもふれあい事業」の参加者数の青少年人口（0-18歳）に対する割合				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		6.4	8.7	-	-	-
令和元年度実績については、新型コロナウイルス感染症の影響により、当該事業の中止が相次いだため、適正な数値の捕捉ができなかったため実績はなし。						
5	5-2	青少年健全育成組織の構成員数				
		青少年健全育成組織の構成員数を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		1,171	1,196	991	82.9%	B
5	5-3	若年無業者・フリーターの相談者数に対する就学・就職者数の割合				
		ひきこもりや不登校を含むニート・フリーター等に対する、社会的自立に向けた支援の効果を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		42.7	42.7	50.0	117.1%	A

< 総合評価 >

次代を担う子どもが健やかに生まれ育つ社会を実現するため、安心して妊娠・出産できる環境の整備や保育の充実など、子どもを生み育てやすい環境の整備等に取り組んできた。

具体的には、平成29年度のこども・若者未来局の設置と同時に、各区に子育て支援センターを設置するなど、市民に身近な窓口でのきめ細かな相談体制を整え、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を推進するとともに、すべての子どもや若者が生まれ育った環境に左右されることなく、将来に夢と希望を持って健やかに成長し、自立・活躍できるよう、子どもの貧困対策や児童虐待防止などの困難を抱える子どもたちへの支援施策の充実も図ってきた。

成果指標3「合計特殊出生率」については、当初目標である1.16は達成しているものの、上方修正した目標値1.41には届かないという結果であった。「合計特殊出生率」には多くの社会的要因が複合的に影響していることから、施策の効果が確認しづらいものであるが、基準値である1.16（H26）から微増ではあるものの、増加傾向を維持できたことや、成果指標4「子どもを生きやすい環境であると感じている市民の割合」が達成率103.5%と目標を達成していることから、施策の効果が着実に発現していると考えられる。一方で、成果指標5「子どもを育てやすい環境であると感じている市民の割合」、成果指標6「子どもを必要なときに預けられる場（人・場所）がある親の割合」は、それぞれ達成率81.9%、88.9%とわずかに目標値には届かないという結果であった。保育所等の整備や定員の拡大、保育人材の確保を図ることで待機児童数は減少しており、引き続き、保育需要の動向を見極めながら、保育等の受入枠の確保や保育人材の確保、保育の質の向上を図っていく。

また、青少年の健全育成に関する施策については、成果指標7「不良行為少年補導人数」について、最終実績値が2,400人と最終目標2,352人（14,049人から上方修正）にはわずかに届かなかったものの、基準値20,070人（H20）から約88%の減という結果であったことから、各種取組について十分な成果が得られたものと評価できる。

「新・相模原市総合計画」での取組の成果を踏まえつつ、今後もすべての子どもや若者が将来に夢と希望を持ち、安全で安心して健やかに成長し、自立・活躍ができる環境づくりを進めるとともに、社会情勢の変化により多様化する子育て家庭のニーズに対応するため、関係機関や団体との連携を図りながら、より効果的な施策の充実や子育てしやすい環境の整備を進めていく。

政策の基本方向 3		高齢者がいきいきと暮らせる社会をつくります
構成する施策	6	高齢者の社会参加の推進
	7	高齢者を支える地域ケア体制の推進

< 施策の総合評価結果の推移 >

No.	評価	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
施策 6	1次	B	B	B	B	B	B	B	B	B
	2次	C		B				B		
施策 7	1次	B	B	A	A	A	A	B	A	A
	2次	C			B			B		

< 成果指標の目標と実績 >

施策	指標	指標と説明				
6	8	活動の場がある高齢者の割合 (%) 高齢者が仕事や地域などでの活動を通じて社会とかがわっているかを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		43.2	52.4	69.0	131.7%	A
7	9	健康と感じている高齢者の割合 (%) 高齢者が健康に過ごしていると感じているかを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		78.9	80.3	80.7	100.5%	A
7	10	高齢者が地域で見守られ、支えられて暮らしていると感じている人の割合 (%) 高齢者が地域で見守られ、支えられて暮らしていると感じているかを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		35.2	40.0	41.3	103.3%	A
7	11	介護サービス利用者の満足度 (%) 介護サービスを受けている人の介護サービス全般の満足度を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		68.8	75.0	89.1	118.8	A

< 業績評価指標の目標と実績 >

施策	指標	指標と説明				
6	6-1	シルバー人材センターの就業延人員 (人) シルバー人材センターで実際に就業した市民がどれだけいるかを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		307,632	321,000	268,605	83.7%	B
6	6-2	社会参加を行う高齢者の割合 (%) ボランティア・まちづくり活動のほか、趣味のサークル活動や就業等、広く社会に参加している高齢者の割合				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		61.0	67.1	76.7	114.3%	A

6	6-3	高齢者大学 受講生の満足度（％）				
		講座を修了した受講生の事業内容への満足度				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		83.9	90.0	91.4	101.6％	A
7	7-1	いきいき百歳体操の団体数（団体）				
		介護予防に資する住民主体の通いの場である、いきいき百歳体操の団体数を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		82	202	260	128.7％	A
7	7-2	介護支援ボランティア数（人）				
		さがみはら・ふれあいハートポイント事業のボランティア登録者数を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		769	1,870	1,785	95.5％	B
7	7-3	認知症サポーターの養成数（人）				
		認知症サポーターの養成講座などによる認知症サポーターの養成数を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		13,239	45,117	48,717	108.0％	A
7	7-4	小規模多機能型居宅介護の整備数（箇所）				
		地域密着型サービスの小規模多機能型居宅介護整備数を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		15	30	31	103.3％	A

< 総合評価 >

高齢者がいきいきと暮らせる社会を実現するため、地域ケアサービスや介護予防を進めるとともに、高齢者の就労機会の充実やボランティア活動への参加促進などに取り組んできた。

成果指標については、全ての指標において最終目標を達成しており、当該分野に関する取組の効果が発揮され、十分な成果が得られているものと評価できる。特に、成果指標 8「活動の場がある高齢者の割合」については、基準値である 43.2%（H19）から約 26 ポイント増加、達成率が 131.7%となっており、地域活動支援事業など、高齢者が生きがいを持って生活できる環境づくりの取組について効果が得られたものと考えられる。

一方で、業績評価指標「シルバー人材センターの就業延人員」、「介護支援ボランティア数」はそれぞれ達成率が 83.7%、95.5%という結果であり、目標値には届かなかったことから、引き続き、ニーズにあった就労機会の創出に取り組むとともに、介護ボランティアの登録者数増加に向けた取組を推進していく必要がある。

今後は「未来へつなく さがみはらプラン」に基づき、高齢者の就労機会の充実やボランティア活動への参加促進に引き続き取り組むとともに、介護支援ボランティア、認知症サポーターの養成等に努め、高齢者を支える地域ケア体制を推進する。

政策の基本方向 4		障害者がいきいきと暮らせる社会をつくります
構成する施策	8	障害者の自立支援と社会参加
	9	障害児の支援

< 施策の総合評価結果の推移 >

No.	評価	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
施策 8	1次	B	B	B	B	B	B	B	A	A
	2次	B			B			B		
施策 9	1次	A	A	A	A	A	A	B	B	A
	2次	A	A			A			B	

< 成果指標の目標と実績 >

施策	指標	指標と説明				
8	12	一般就労をした障害者の数(人) 福祉施設等から一般就労をした人の数を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		44	109	147	134.9%	A
8	13	日中活動系事業所の利用者数(人) 入所施設や病院等以外の障害福祉サービス事業所を利用している人の数を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		1,351	3,976	3,669	92.3%	B
8	14	相談支援を受けている件数(件) 相談支援に関する実績件数を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		11,600	16,300	20,798	127.6%	A
8	15	障害福祉サービスなどに満足している市民の割合(%) 障害福祉サービスなどを利用している人のサービス全般の満足度を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		54.9	66.7	50.4	75.6%	C
9	16	療育相談やリハビリテーションを行っている障害児の数(利用者数)(人) 身近な地域で療育相談やリハビリテーションを行っている障害児がどれくらいいるかを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		3,609	5,439	12,939	237.9%	A

< 業績評価指標の目標と実績 >

施策	指標	指標と説明				
8	8-1	障害者総合支援法に基づき、市が指定する特定相談支援事業所数(事業所) 障害者の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、きめ細かく支援する事業所の状況を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		29	44	54	122.7%	A

8	8-2	就労移行率が3割以上の事業所数（事業所）				
		就労した障害者の割合が3割以上となる障害者就労移行支援事業所の状況を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		5	11	8	72.7%	C
8	8-3	共同生活援助の利用者数（人/月）				
		グループホームの入居者数の推移を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		495	711	857	120.5%	A
8	8-4	市内6箇所の障害者支援施設に満足している利用者の割合（％）				
		指定管理者制度導入6施設を利用している障害者及び保護者等の施設満足度を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		88.9	92.3	99.9	108.2%	A
9	9-1	障害児通所支援の利用者数（人日/月）				
		児童発達支援・放課後等デイサービス等の利用者数の推移を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		6,983	13,758	23,083	167.8%	A
9	9-2	ペアレントトレーニング参加者数（人）				
		発達に遅れのある児の支援の充実を図るため、行動療法の理論に基づいたトレーニングを行った人数を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		33	172	306	177.9%	A

< 総合評価 >

障害者がいきいきと暮らせる社会を実現するため、障害者の相談体制の充実や就労支援、社会参加の促進、障害児の療育体制の充実などに取り組んできた。

具体的には、基幹相談支援センターや障害者相談支援キーテーションを設置し、地域の相談支援事業所等を含めた重層的な相談支援体制を整備したことにより、多様な支援ニーズに対応できる総合的かつ専門的な相談支援を推進した結果、成果指標12「一般就労をした障害者の数」、成果指標14「相談支援を受けている件数」については、いずれも目標値を大きく超える成果を上げることができた。また、療育等を必要とする児童の受け皿の拡充を図るため、各区へ福祉型児童発達支援センターを整備したことにより、成果指標16「療育相談やりハビリテーションを行っている障害児の数」については、最終目標値5,439人から最終実績値12,939人と達成率が約238%、基準値である3,609人（H20）から約360%の増と十分な成果が得られたものと考えられる。

一方、成果指標13「日中活動系事業所の利用者数」、成果指標15「障害福祉サービスなどに満足している市民の割合」は、それぞれの達成率は、92.3%、75.6%という結果であった。本施策分野については、この10年間で度重なる法改正もあり、サービスの充実は図られているものの、サービスに不安を抱えている利用者もいることから、引き続き、改善に努める必要がある。

障害の重度化や障害者の高齢化、親亡き後への支援体制、発達に遅れのある児童の増加などの課題について、今後、更なる検討を進めていく必要があるため、「未来へつなぐ さがみはらプラン」の推進に当たり、関係機関との連携を強化することで地域における支援体制の充実を図るとともに、福祉人材の確保・定着・育成に資する取組を推進していく。

政策の基本方向 5		健康に暮らせる社会をつくります
構成する施策	1 0	健康づくりの推進
	1 1	医療体制の充実
	1 2	保健衛生体制の充実

< 施策の総合評価結果の推移 >

No.	評価	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
施策 1 0	1 次	B	B	B	B	B	B	B	B	B
	2 次	B		B			B			B
施策 1 1	1 次	A	A	A	A	A	A	B	A	A
	2 次	A	A			A			A	
施策 1 2	1 次	B	B	B	A	A	B	A	A	A
	2 次	B		B			B			A

< 成果指標の目標と実績 >

施策	指標	指標と説明				
10	17	自分が健康であると感じている人の割合（％） 自分が健康であると感じている市民の割合を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		75.5	80.0	74.8	93.5%	B
10	18	日常生活で健康づくりに取り組んでいる市民の割合（％） 個人として、日常的に健康を意識した取り組みを行っている市民がどれくらいいるかを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		77.0	85.0	83.3	98.0%	B
11	19	安心して医療を受けることができると感じている市民の割合（％） 市民が安心して医療を受けているかどうかを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		40.6	53.3	57.2	107.3%	A
11	20	収容依頼 3 回以内で受け入れられた救急搬送者の割合（％） 救急患者の状態に応じて、適切に救急搬送されたかを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		92.9	95.1	95.9	100.8%	A
12	21	結核患者数（人） 主要な感染症である結核について、その発症数を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		130	85	57	149.1%	A
12	22	収去検査結果による基準値に対する違反率（基準の定まった食品の抜き取り検査の違反率）（％） 食品の抜き取り検査をしたもののうち、違反していたものを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		0.7	0.0	0.0	100%	A

< 業績評価指標の目標と実績 >

施策	指標	指標と説明				
10	10-1	65歳未満の心疾患及び脳血管疾患の死亡率（人口10万人対）				
		人口10万人に対して、各年の65歳未満の心疾患及び脳血管疾患による死亡が何人あったかを示す率を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		32.4	30.0	28.8	104.2%	A
10	10-2	ゲートキーパー養成研修修了者数（人）				
		自殺対策において「気づき、話を聞き、専門家につなげ、見守る市民（ゲートキーパー）」の養成研修修了者数を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		800	4,000	5,382	134.6%	A
10	10-3	野菜350g摂取について普及啓発を受けた人の数（人）				
		成人の1日あたりの野菜摂取目標350g以上について普及啓発を受けた人の数を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		3,399	3,671	2,662	72.5%	C
10	10-4	精神医学基礎研修参加者の理解度（%）				
		相談担当職員の技術向上を目的として実施する、精神医学基礎研修参加者の理解度を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		93.3	95.0	98.9	104.1%	A
11	11-1	市内で総合診療医の業務に従事する義務年限が生じる修学資金借受者及び借受者卒業生の数（人）				
		制度を利用し、市内で総合診療医の業務に従事している、もしくは今後勤務する医師の数				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		3	19	19	100%	A
11	11-2	重症患者の市内搬送割合（%）				
		救急搬送時に、市内の医療機関に搬送された重症患者の割合				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		84.7	90.0	83.5	92.8%	B
11	11-3	国民健康保険税の収納率（%）				
		国民健康保険税（現年課税分）の調定額に対する収入済額の割合				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		87.1	90.72	90.92	100.2%	A
12	12-1	麻しん風しん第1期予防接種の接種率（%）				
		麻しん風しん第1期定期予防接種の対象者が接種対象年齢中に予防接種を受ける割合を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		92.3	96.2	90.9	94.5%	B
12	12-2	食品等取扱施設に対する立入検査実施率（%）				
		食品衛生監視指導計画に基づき実施する食品等取扱施設に対する立入検査の実施率を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		108.6	100.0	91.9	91.9%	B

12	12-3	収容した犬の返還・譲渡率（％）				
		収容した犬について、返還・譲渡の占める割合を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		85.4	87.6	98.8	112.8％	A
12	12-4	収容した猫の譲渡率（％）				
		収容した猫について、譲渡の占める割合を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		30.3	70.0	100.6	143.7％	A
12	12-5	浴槽水等検査実施率				
		検査計画に基づき実施する浴槽水検査について、その実施率を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		100	100	94.8	94.8％	B

< 総合評価 >

健康に暮らせる社会の実現に向けて、健康増進事業、健幸ポイント事業、健活チャレンジ事業、ゲートキーパー養成などにより市民の健康づくりを、急病診療事業や地域医療事業などにより医療体制の充実に向けた取組を、感染症の予防・まん延防止対策や食の安全・安心確保事業などにより保健衛生体制の充実に向けた取組をそれぞれ推進してきた。

成果指標については、ほとんどの指標において目標値を達成しているものの、成果指標 17「自分が健康であると感じている市民の割合」、成果指標 18「日常生活で健康づくりに取り組んでいる市民の割合」については、達成率がそれぞれ 93.5%、98.0%と目標に届かないという結果であった。しかし、健幸ポイント事業や生活習慣病予防運動教室などを実施し、健康づくりがしやすい環境の整備を進めるとともに、総合計画審議会からの「健康づくりの推進に向け、健康増進事業を積極的に実施し、できるだけ健康を維持するという考え方に基づく健康づくりが必要である」という意見を踏まえ、市民の健康づくりを推進する団体等と連携し、地域に根差した健康増進事業を積極的に実施するとともに、健康診査の受診率向上等に取り組んできたことで、各取組の効果は着実に現れており、基本目標の達成に貢献できたものと考えられる。

「新・相模原市総合計画」に基づく施策推進を踏まえ、「未来へつなぐ さがみはらプラン」では、「健康で心豊かに暮らせる社会をつくる」、「安全で安心な市民生活を守る」という考えのもと、引き続き「健康づくりの推進」、「医療体制の充実」及び「保健衛生体制の充実」に向けた取組を進めていく。

政策の基本方向 6		安全で安心して暮らせる社会をつくります
構成する施策	1 3	市民生活の安全・安心の確保
	1 4	災害対策の推進
	1 5	消防力の強化

< 施策の総合評価結果の推移 >

No.	評価	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
施策 1 3	1 次	B	A	A	B	A	A	A	A	A
	2 次	B	B			A			A	
施策 1 4	1 次	B	A	A	A	A	A	A	A	B
	2 次	B		A			A			B
施策 1 5	1 次	B	B	B	A	A	A	B	A	B
	2 次	B			A			B		

< 成果指標の目標と実績 >

施策	指標	指標と説明				
13	23	市内で発生した犯罪認知件数（千人あたりの犯罪認知件数）（件） 市内で発生した犯罪件数から発生状況を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		11,003 (15.6)	3,950 (5.5)	3,969 (5.5)	99.5%	B
13	24	市内で発生した交通事故件数（千人あたりの交通事故件数）（件） 市内で発生した交通事故件数から発生状況を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		2,980 (5.6)	2,570 (3.6)	2,215 (3.0)	116.0%	A
13	25	消費者被害に遭わないように注意している市民の割合（%） 消費者被害について、注意を払っている市民がどれくらいいるかを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		59.9	66.0	93.0	140.9%	A
14	26	避難路整備率（%） 市民が安全に避難できる道路が整備されているかどうかを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		78.0	83.8	86.3	103.0%	A
14	27	浸水被害警戒対象地域の解消率（%） 「雨水対策基本計画」に基づき、雨水対策事業箇所の増減を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		【平成 26 年度より、「相模原市緊急雨水対策事業実施計画」（平成 26 年度策定）に基づき、雨水対策事業箇所の増減を把握しているため指標としては用いない。（なお、施策の進捗度については、指標 14-2 で補完）】				

14	28	災害対策をしている市民の割合（％）				
		災害に対する事前対策を行っている市民の割合				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		11.1	16.6	17.7	106.6%	A
15	29	延焼率（％）				
		出火した建物から他の建物への延焼を防ぎ、火災被害の減少の割合を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		11.8	9.7	7.9	122.8%	A
15	30	救命率（％）				
		心肺機能が停止した傷病者の生存率を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		8.5	14.0	12.5	89.3%	B

< 業績評価指標の目標と実績 >

施策	指標	指標と説明				
13	13-1	防犯講習会の開催回数（回）				
		市民の防犯意識の向上を図るため、市で実施する防犯講習会の回数を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		56	170	176	103.5%	A
13	13-2	自転車シミュレーターを活用した交通安全事業の実施回数				
		地域等での交通安全活動の支援として、自転車シミュレーターを活用した事業の実施回数を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		3	14	10	71.4%	C
13	13-3	消費生活に関する出前講座参加人数				
		消費生活に関する身近な問題などについて学んだ人数を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		1,780	1,780	3,403	191.2%	A
13	13-4	自治会等による防犯カメラの設置台数（台）				
		犯罪の抑止効果を高め、犯罪を未然に防止する有効な手段として防犯カメラの設置台数を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		25	155	188	121.3%	A
14	14-1	避難路整備延長（km）				
		市民が安全に避難できる道路が整備されているかどうかを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		0.0	4.8	4.8	100%	A
14	14-2	緊急雨水対策事業箇所における浸水被害の解消率				
		「相模原市緊急雨水対策事業実施計画」に基づき、雨水対策事業箇所の増減を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		11.1	81.0	78.6	97.0%	B

14	14-3	災害に対する家庭での事前対策を行っている市民の割合（％）				
		防災知識の普及・啓発を目的として実施する防災マイスター事業の目的の達成度を測る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		37.7	39.7	39.8	100.3%	A
14	14-4	土砂災害対策の認知度（％）				
		避難する場所と避難経路等を事前に確認するなど、災害に備えて命を守る行動の認知度を測る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		35.0	58.0	67.8	116.9%	A
15	15-1	住宅用火災警報器が設置されている住宅の割合（％）				
		住宅用火災警報器が市火災予防条例に基づき設置が必要な場所にすべて設置されている住宅の割合				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		-	76.0	74.0	97.4%	B
15	15-2	応急手当に関する普及講習会受講者数（人）				
		応急手当に関する普通救命講習会などの受講者数を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		22,488	23,000	22,020	95.7%	B

< 総合評価 >

安全で安心して暮らせる社会の実現に向け、自然災害などから市民の生命と財産を守り、市民生活の安全性を高める取組を進めてきた。

市民生活の安全・安心の確保に関する施策については、防犯講習会や交通安全教室等の開催により、地域の防犯力及び交通マナーの向上を図るだけでなく、世代別の消費者教育等により消費者被害に対する意識の向上が図ることができ、ほとんどの指標において目標を達成した。成果指標 23「市内で発生した犯罪認知件数(千人あたりの犯罪認知件数)」については、最終目標値 3,950 件(9,800 件から上方修正)に対し、実績値 3,969 件と僅かに目標には届かなかったものの、防犯講習会などによる防犯意識の高まりが成果として得られているものと評価できる。

さらに、災害対策に関する施策については、災害に強い都市基盤の整備推進、市民の災害に対する備えを促進する取組を進めることで、全ての成果指標で目標を達成することができたことから、適切な事業推進が図られ、その成果が十分に得られているものと考えられる。

また、消防力の強化に関する施策については、各種火災予防対策や応急手当の普及啓発などの取組を推進することで、成果指標 29「延焼率」については、最終目標 9.7%に対し、最終実績 7.9%と達成率が 122.8%と大きな成果を得ることが出来た。一方で、成果指標「救命率」については、高齢者の搬送割合の増加など、搬送に至った原因や背景が大きく影響し、最終実績値は 12.5%と目標値 14.0%には至らなかった。しかしながら、基準値の 8.5% (H20) から 4 ポイントの増加を達成できたことは、救急業務の高度化や応急手当普及啓発事業の効果が発現しているものと分析できるため、引き続き取組を推進し、効果を高めていく必要がある。

令和 2 年度以降の「未来へつなぐ さがみはらプラン」においても、引き続き、各施策を着実に推進し、安全で安心な暮らしやすいまちの達成を目指していく。

基本目標 学びあい 人と地域をはぐくむ教育・文化都市

政策の基本方向 7		心豊かな子どもをはぐくむ教育環境をつくります
構成する施策	1 6	学校教育の充実
	1 7	家庭や地域における教育環境の向上

< 施策の総合評価結果の推移 >

No.	評価	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
施策 1 6	1 次	B	B	B	B	A	A	A	A	A
	2 次	B	B			A			A	
施策 1 7	1 次	A	A	B	B	B	B	B	B	B
	2 次	B	B	B			B			B

< 成果指標の目標と実績 >

施策	指標	指標と説明				
16	31	授業が分かりやすいと感じている児童・生徒の割合（％） 義務教育において、学習内容を習得しているか、その方向にあるかを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		80.5	82.5	85.8	104.0%	A
16	32	学校を楽しんでいると感じる児童・生徒の割合（％） 児童・生徒がいきいきと学校に通っているかを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		90.0	92.0	92.0	100%	A
17	33	子どもとのコミュニケーションが図られていると感じる保護者の割合（％） 家庭における子どもの教育環境の状況を保護者の側から見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		88.4	90.0	89.0	98.9%	B
17	34	親が自分のことを理解してくれていると思う子どもの割合（％） 家庭における子どもの教育環境の状況を子どもの側から見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		77.2	79.0	84.2	106.6%	A
17	35	地域における子どもの育成活動に参加した市民の割合（％） 地域における子どもを取り巻く教育環境の状況を成人の側から見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		17.8	19.8	14.2	71.7	C
17	36	地域行事に参加している子どもの割合（％） 地域における子どもを取り巻く教育環境の状況を子どもの側から見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		78.6	80.6	75.2	93.3%	B

< 業績評価指標の目標と実績 >

施策	指標	指標と説明				
16	16-1	幼・保・小連携幼稚園・こども園・保育園数（園）				
		就学前教育と小学校教育の情報連携や行動連携を効果的に行うため、連携を行っている幼稚園、こども園、保育園数を把握する指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		139	192	226	117.7%	A
16	16-2	スクールソーシャルワーカーによる支援状況（回）				
		スクールソーシャルワーカーによるケース会議や訪問活動の実施回数から支援状況を把握する指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		1,306	1,750	2,132	121.8%	A
16	16-3	教職員の研修内容の満足度（4点満点）（点）				
		教職員の研修内容が今後の教育活動に活用できる内容であったかを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		3.5	3.8	3.8	100%	A
16	16-4	市立小・中学校のトイレの改修箇所数（箇所）				
		小・中学校のトイレの改修箇所数（トイレ改修事業による改修箇所数）を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		587	779	781	100.3%	A
17	17-1	家庭教育事業へ参加した保護者の割合（％）				
		市立小中学校PTA連絡協議会の各ブロックで開催している「家庭教育事業」へ参加した保護者の割合を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		3.7	4.3	3.4	79.1%	A
17	17-2	青少年を対象とした事業への参加人数（人）				
		公民館事業における青少年を対象とした事業への参加人数を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		40,550	43,338	34,540	79.7%	C

< 総合評価 >

政策の基本方向である心豊かな子どもをはぐくむ教育環境をつくるため、教育内容や支援・相談体制、施設の充実を図るとともに、教職員の人材育成や学校・家庭・地域の協力体制の強化を進めてきた。

具体的には、教育内容の充実として、確かな学力向上への取組や体験学習、国際教育、人権教育、学びの連続性を大切にした教育の推進などを行った。また、支援・相談体制の充実として、各学校の支援教育コーディネーターを中心とした校内支援体制の充実や青少年教育カウンセラー、スクールソーシャルワーカーの増員などを行った。さらに、施設の充実として、校舎・屋内運動場・トイレの改修、空調設備の整備などを行った。あわせて、教職員の人材育成として、さがみ風っ子教師塾の運営などを行うとともに、学校・家庭・地域の協力体制の強化として、学校と地域を結び付けるコーディネーターの配置や市立小中学校PTA連絡協議会と連携して保護者を対象とした家庭教育に関する学習会を実施するなどの取組を進めてきた。

取組の成果として、学校教育（施策16）に係る指標については、全て最終目標を達成すること

ができた。成果指標 31「授業が分かりやすいと感じている児童・生徒の割合」は、基準値である 80.5%（H20 年度）から最終実績値 85.8%（R1 年度）まで増加しており、学習内容の習得に向けた取組の成果が発揮されている。また、成果指標 32「学校を楽しんでいる児童・生徒の割合」も、基準値 90.0%（H20 年度）から最終実績値 92.0%（R1 年度）まで増加するなど、教育内容の充実や支援・相談体制の充実に向けた取組等についても成果が現れている。

一方で、全国学力・学習状況調査では、本市の児童生徒の国語や算数・数学の平均正答率は全国平均をやや下回る傾向にあり、基礎的・基本的な知識及び技能の定着に向けた一層の取組が必要である。また、自己肯定感のある児童生徒の割合も全国平均をやや下回る傾向にあり、学びに向かう力や夢・目標などに挑戦しようと思う意欲の源泉となる自己肯定感を育むことが求められている。このほか、特別支援学級の在籍者数や不登校状態、外国につながる児童生徒数が近年増加傾向にあることなどから、一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援教育など、共生社会の実現に向けた取組を推進する必要がある。あわせて、こうした学びを支える人材の確保・育成や施設の充実など、教育環境の充実にも取り組んでいく必要がある。

家庭・地域の教育（施策 17）に係る指標については、成果指標 33「子どもとのコミュニケーションが図られていると感じる保護者の割合」は、最終目標は達成できなかったものの、基準値 88.4%（H20 年度）から最終実績値 89%（R1 年度）に向上し、成果指標 34「親が自分のことを理解してくれていると思う子どもの割合」については、基準値 77.2%（H20 年度）から最終実績値 84.2%（R1 年度）まで増加し、最終目標も達成するなど、家庭教育啓発事業などの成果が現れていると評価できる。

一方、成果指標 35「地域における子供の育成活動に参加した市民の割合」は、基準値である 17.8%（H20 年度）から最終実績値 14.2%（R1 年度）に減少、成果指標 36「地域行事に参加している子どもの割合」は、基準値 78.6%（H20 年度）から最終実績値 75.2%（R1 年度）に減少という結果であった。これら地域における教育環境の充実に向けた取組については、学校と地域を結び付けるコーディネーターの配置や子どもの安全見守り活動などの取組を推進してきたが、地域のコミュニティに対する考え方が多様化し、地域の子どもの育成活動に関わる機会が減っていることや、塾や習い事に通っている子どもが増加し地域行事に参加する機会が減少していることなどが大きく影響したものと考えられる。

こうした地域コミュニティの希薄化や、核家族化など家庭環境が変化する中で、子どもの基本的な生活習慣や社会性の育成などに課題を抱える家庭や地域で孤立する家庭の増加が指摘されており、地域全体で家庭教育を支える取組が求められている。また、子どもを取り巻く家庭や地域の状況の変化に加えて、学校が抱える課題も複雑・多様化しており、その課題解決や未来を担う子どもの豊かな学びと成長のためには、地域と学校がパートナーとして連携・協働するための組織的・継続的な仕組みづくりなど、地域全体で子どもの成長を支える取組が求められている。

このような課題への取組について、「未来へつなぐ さがみはらプラン」の「施策 3 幼児教育・学校教育の推進」や「施策 4 家庭や地域における教育力の向上」に位置付けており、引き続き取組を推進することにより、「目指すまちの姿 夢と希望を持って成長できるまち」の実現に寄与することを目指す。

政策の基本方向 8		生涯を通じ学習する人・スポーツをする人を支援する社会をつくります
構成する施策	1 8	生涯学習の振興
	1 9	生涯スポーツの振興

< 施策の総合評価結果の推移 >

No.	評価	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
施策 1	1 次	A	A	B	B	B	B	B	A	B
	2 次	B	B		B			B		
施策 2	1 次	B	B	B	B	B	B	B	B	A
	2 次	B	B	B			B			A

< 成果指標の目標と実績 >

施策	指標	指標と説明				
18	37	学習機会を得ていると思う市民の割合 (%) 市民が生涯学習の機会を得ているかを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		29.9	31.7	32.1	101.3%	A
18	38	学習成果を他の人に還元している市民の割合 (%) 生涯学習での成果が市民の間で循環しているかを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		24.0	26.0	20.7	79.6%	C
19	39	スポーツを定期的に行う割合 (%) 市民がスポーツを継続して実践しているかを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		52.1	65.0	61.4	94.5%	B

< 業績評価指標の目標と実績 >

施策	指標	指標と説明				
18	18-1	市民大学を受講し、満足と感じている人の割合 (%) 市民大学の受講を通じて、充実した学習機会を得られたと考える人の割合を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		75.6	76.8	84.8	110.4%	A
18	18-2	市民講師養成講座の修了者数の累計 (人) 市民の学習活動を支援する人材の育成状況を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		64	94	89	94.7%	B
19	19-1	公共スポーツ施設の利用者数 (人) 市民がスポーツに親しんでいるか、施設が有効に活用されているかを測る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		3,830,678	4,320,000	3,895,799	90.2%	B

< 総合評価 >

政策の基本方向である生涯を通じ学習する人・スポーツする人を支援する社会をつくるため、生涯学習、スポーツ・レクリエーション機会の充実を図るとともに、活動の支援を進めてきた。

具体的には、機会の充実として、多様な学習ニーズに対応した学習機会の提供や、公民館やスポーツ・レクリエーション施設の整備・充実などに取り組むとともに、活動の支援として、学習成果を地域や社会に還元する仕組みづくりや、総合型地域スポーツクラブの創設支援と育成、ホームタウンチームとの連携・支援などの取組を進めてきた。

取組の成果として、生涯学習（施策 18）に係る指標について、機会の充実に係る指標である成果指標 37「学習機会を得ていると思う市民の割合」は最終目標を達成するとともに、基準値 29.9%（H20 年度）から最終実績値 32.1%（R1 年度）まで増加しており、公民館、図書館、博物館などの生涯学習・社会教育施設における取組の成果が現れているが、人生 100 年時代の到来など社会状況が変化する中において、誰もが豊かな人生を送ることができるよう、引き続き、生涯にわたって学び生かす学習機会を提供する必要がある。一方、活動の支援に係る指標である成果指標 38「学習成果を他の人に還元している市民の割合」は最終目標を達成することができず、数値も基準値 24.0%（H20 年度）から最終実績値 20.7%（R1 年度）に減少という結果であった。これまで市民の主体的な公民館運営や市民自らが企画・運営する公民館自主企画提案事業の実施（H26 年度開始）などの取組も推進してきたが、担い手の固定化や高齢化などが影響したことにより、学習成果の還元が十分に図られなかったものと考えられる。

スポーツ（施策 19）に係る指標については、成果指標 39「スポーツを定期的に行う割合」は基準値 52.1%（H20 年度）から最終実績値 61.4%（R1 年度）まで増加しており、スポーツ・レクリエーション機会の充実などの取組の成果が現れている。最終目標の達成率は 94.5%と目標達成には至らなかったものの、神奈川県の実績 42.2%（H27 年度）や全国の実績 53.6%（R1 年度）を上回っており、本市は市民のスポーツ活動が比較的活発であると言え、やはりスポーツ振興施策の成果が現れているものと評価できる。しかしながら、働き盛り・子育て世代については、依然として実績値を押し下げる要因となっていることから、引き続き、仕事や子育てに忙しい市民が気軽にスポーツに取り組める環境づくりなど、生涯を通じたスポーツ活動の支援やスポーツ環境の整備・充実に向けた取組が必要である。

こうした課題への取組について、「未来へつなぐ さがみはらプラン」の「施策 5 生涯学習・社会教育の振興」や「施策 31 スポーツの推進とスポーツを通じた活力あふれるまちづくりの実現」に位置づけており、引き続き取組を推進することにより、「目指すまちの姿 夢と希望を持って成長できるまち」や「目指すまちの姿 活力と交流が新たな価値や魅力を創造するまち」の実現に寄与することを目指す。

政策の基本方向 9		豊かな市民文化を創造する社会をつくります
構成する施策	2 0	文化の振興
	2 1	国際化の推進

< 施策の総合評価結果の推移 >

No.	評価	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
施策 2 0	1 次	B	A	B	B	A	A	A	B	A
	2 次	B		B			A			B
施策 2 1	1 次	B	B	B	B	B	B	B	B	B
	2 次	B			B			B		

< 成果指標の目標と実績 >

施策	指標	指標と説明				
20	40	文化・芸術に親しんでいる市民の割合（％） 文化・芸術が市民に親しまれているかを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		65.5	69.6	66.5	95.5%	B
21	41	日常生活のなかで市民と外国人市民が交流している割合（％） 市民生活のなかで国際化が進んでいるかを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		11.6	16.2	12.4	76.5%	C

< 業績評価指標の目標と実績 >

施策	指標	指標と説明				
20	20-1	市民文化祭への参加者数及び入場者数（人） 相模原市内の文化芸術関連団体が実施する市民文化祭への参加者数及び入場者数の推移を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		11,410	11,720	10,123	86.4%	B
20	20-2	市内文化施設で行っている自主事業の入場者数（人） 市民が優れた文化を鑑賞するために企画している自主事業の入場者数の推移を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		50,200	90,000	95,042	105.6%	A
20	20-3	文化財普及活動へのボランティア参加者数（人） 普及事業への市民ボランティアの延べ参加者数の推移を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		535	790	663	83.9%	B
20	20-4	市内の文化芸術施設（ホールや公民館等）を利用している人の割合（％） 文化振興プラン 基本目標 「文化を身近に感じる環境づくりの推進」の成果指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		41.5	55	41	74.9%	C

21	21-1	国際交流ラウンジ登録団体の活動回数（回）				
		国際交流ラウンジの活動状況を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		92	144	95.8	66.5%	C
21	21-2	多文化理解を深めるため実施する事業の参加者数（人）				
		国際交流または国際理解事業への参加者数を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		3,774	3,864	3,287	85.1%	B

< 総合評価 >

豊かな市民文化を創造する社会をつくるため、市民文化祭の開催やさがみはら国際交流ラウンジの運営などにより、市民文化活動・国際交流の促進に取り組んできた。

成果指標 40「文化・芸術に親しんでいる市民の割合」は、イベント情報発信の強化や、民間商業施設等との連携により収蔵美術品店や写真作品展を開催することによる鑑賞機会の充実を行ったことにより、目標値 69.6%に対して実績値 66.5%と達成率は 95.5%と概ね目標を達成することができた。さらに、文化振興に関する施策については、文化施設の利用者は年々増加していることから、各種取組による成果は得られているものと考えられるが、文化団体の会員の高齢化などにより市民文化祭の参加者数等が減少していることから、若い世代の参加促進などが必要であると考えられる。

国際化の推進施策については、国際交流ラウンジ事業などにより外国人市民との交流を推進しているところである。総合計画審議会からの「国際交流に係る取組の成果を市民に公表し、支持を得て、ボランティアの輪が広がるということが望ましい」という意見を踏まえ、国際交流ラウンジを通じて、地区自治連の実施する防災訓練に外国人市民の参加を促すとともに、国際交流ラウンジにおける活動を紹介し、ボランティア活動のきっかけをつくる市民向け講座を実施してきた。しかしながら、成果指標 41「日常生活のなかで市民と外国人市民が交流している割合」は、目標値 16.2%に対して実績値 12.4%と達成率は 76.5%という結果であり、最終年度では前年度実績を下回る結果であった。令和元年度については、東日本台風や新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、市民同士の交流機会が損なわれたという外部要因があったものの、平成 30 年度実績までは、概ね増加傾向にあったことから、一定の成果は得られていると考えられる。

「新・相模原市総合計画」に基づく成果を踏まえ、「未来へつなぐ さがみはらプラン」では、市民の多彩な文化活動の促進や多様な文化芸術に触れることのできる機会の充実などに取り組むほか、文化財に親しむ機会の充実や多様な主体との連携により、文化財の保存と活用を図っていく。また、多文化共生の推進や国際交流・国際協力の推進に取り組むことで、個性が尊重され、人権を認め合う社会の実現を目指していく。

政策の基本方向 1 0	人権と世界平和を尊重し、ともに生きる社会をつくります
構成する施策	2 2 人権尊重・男女共同参画の推進
	2 3 世界平和の尊重

< 施策の総合評価結果の推移 >

No.	評価	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
施策 2 2	1 次	B	B	A	B	A	B	B	B	B
	2 次	B	B			B			B	
施策 2 3	1 次	A	A	B	B	B	B	B	B	B
	2 次	A	A			B			B	

< 成果指標の目標と実績 >

施策	指標	指標と説明				
22	42	人権の侵害を受けていると感じている市民の割合 (%)				
		市民の間に人権尊重の理念が深まり、根づいているかを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		8.0	7.0	8.0	87.5%	B
22	43	家庭・地域・学校・職場などで男女平等であると思っている市民の割合 (%)				
		様々な場面において男女が平等であるかを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		47.6	53.0	50.1	94.5%	B
22	44	市審議会等における女性委員割合 (%)				
		あらゆる分野において男女共同参画が進んでいるかを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		26.7	40.0	33.3	83.3%	B
23	45	世界平和の実現に向けた取り組みに参加している市民の割合 (%)				
		世界平和の実現をめざした社会づくりが進んでいるかを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		23.6	33.3	19.3	58.0%	D

< 業績評価指標の目標と実績 >

施策	指標	指標と説明				
22	22-1	人権問題についての関心や理解が深まったと感じた市民の割合 (%)				
		啓発事業参加者の人権問題についての意識や理解の深まりを測る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		93.0	93.0	91.8	98.7%	B
22	22-2	男女共同参画の推進に関する講座の内容に満足した市民の割合 (%)				
		男女共同参画推進センター実施講座の内容についての満足度を測る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		96.0	96.0	95.0	99.0%	B

23	23-1	「市民平和のつどい」における市民の参加者数（人）				
		「市民平和のつどい」に参加した市民の数を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		1,200	2,400	1,189	49.5%	D

< 総合評価 >

人権と世界平和を尊重し、ともに生きる社会をつくるため、人権尊重思想の普及啓発を進め、あらゆる施策に人権尊重の理念を反映させ、人権施策の推進を図るとともに、「市民平和のつどい」を開催することなどにより、平和思想の普及啓発に努めてきた。

人権の尊重に関する施策では、成果指標 42「人権の侵害を受けていると感じている市民の割合」については、実績値は横ばいであり、最終目標値への達成には至らなかったが、業績評価指標「人権問題についての関心や理解が深まったと感じた市民の割合」の達成率は上向いており、啓発事業に参加した方の意識が向上していることがわかる。また、平成 28 年度に実施した「人権に関する市民意識調査」では、「自身の人権意識が 5 年前に比べ高くなった」と思っている人が 33.6%と、市民の人権意識の高まりが見られる。こうしたことから、人権意識の高まりがより一層の人権尊重理念の普及高揚に繋がるよう、市民が人権を考える機会を提供するような啓発に取り組んでいく必要があると考えている。成果指標 43「家庭・地域・学校・職場などで男女平等であると思っている市民の割合」、成果指標 44「市審議会等における女性委員割合」は、共に最終目標値は達成できなかったものの実績値は基準値年から上昇しており、女性委員の登用に向けた具体的な方策として、女性人材の紹介のほか、女性委員の割合が 40%に達しない審議会等について、事前協議を実施するなどの働きかけの成果が得られたものと評価している。また、性別による固定的な役割分担意識の在り方に反対する人の割合が、平成 27 年度の「男女共同参画に関する市民意識調査」では 45.5%であったが、平成 30 年度には 57.0%に上昇するなど、性別役割分担意識は徐々に解消されてきており、ワーク・ライフ・バランスの推進や啓発活動の充実などの効果が出ているものと考えている。こうした経過を踏まえ、「未来へつなぐ さがみはらプラン」においても、引き続き、啓発事業等に取り組むことで、男女共同参画社会の実現を目指していく。

世界平和の尊重に関する施策では、毎年「市民平和のつどい」を開催するなど、平和思想の普及啓発に努めてきたが、成果指標 45「世界平和の実現に向けた取り組みに参加している市民の割合」は目標値に至らない年度が続いたため、事業の実施時期や実施場所の見直しを行うなどの改善をしたが、実績値はほぼ横ばいという結果となった。このような状況を踏まえ、総合計画審議会からは「次期総合計画では成果の測定方法を見直されたい」という指摘がなされたため、「未来へつなぐ さがみはらプラン」では、成果指標となるアンケート調査の質問事項を増やすなどの見直しを行い、「世界平和の実現に向けた取組に参加している市民の割合」の実態をより正確に把握できるよう改善を行った。この新たな成果指標の下、平和意識の普及啓発活動を推進し、一人ひとりが国際社会の一員として、世界平和の実現を目指す社会づくりを進めていく。

基本目標 やすらぎと潤いがあふれる環境共生都市

政策の基本方向 1 1	次代につなぐ持続可能な社会をつくります	
構成する施策	2 4	地球温暖化対策の推進
	2 5	環境を守る担い手の育成

< 施策の総合評価結果の推移 >

No.	評価	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
施策 2 4	1 次	A	A	A	A	A	B	B	B	A
	2 次	B	A			A			B	
施策 2 5	1 次	B	B	B	B	B	B	B	B	A
	2 次	B			B			B		

< 成果指標の目標と実績 >

施策	指標	指標と説明				
24	46	市全体の温室効果ガス総排出量（万 t） 地球温暖化対策として、温室効果ガスの排出削減が進められている状態を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		438	372	392	94.9%	B
25	47	日常生活において、環境に配慮している市民の割合（%） 環境を守る活動を行う市民が増えている状態を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		56.6	67.0	68.5	102.2%	A

< 業績評価指標の目標と実績 >

施策	指標	指標と説明				
24	24-1	市が独自に取り組む施策によるCO2削減見込量（万 t） 地球温暖化対策実行計画に基づく施策の実施によるCO2削減見込量を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		4.8	7.7	6.3	81.8%	B
24	24-2	再生可能エネルギー等によるCO2削減見込量（万 t） 地球温暖化対策実行計画に基づく施策の実施によるCO2削減見込量を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		0.5	1.1	1.1	100%	A
25	25-1	環境講座への参加者数（人） 環境情報センターで実施した環境講座における参加者数				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		1,628	1,690	2,279	134.9%	A
25	25-2	環境啓発イベントにおける来場者数（人） 市内の多様な主体が実施する啓発事業への来場者数				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		4,314	5,700	6,350	111.4%	A

< 総合評価 >

次代につなぐ持続可能な社会の実現に向け、地球温暖化対策として、市内事業者の約9割を占める中小規模事業者に対する省エネルギー設備等の導入支援などを実施するとともに、環境を守る担い手の育成として、さがみはら環境まつりをはじめとした環境啓発イベントの実施や環境情報センターでの環境講座の開催などを通じた環境教育を継続的に実施してきた。

成果指標 46「市全体の温室効果ガス総排出量」については、製造品出荷額等の増加等の経済活動の影響や、再生可能エネルギーの固定価格買取制度における買取価格等の低下等による住宅用太陽光発電システムの導入件数が伸び悩んだことなどにより達成率が約95%にとどまったものの、基準年の438万tから392万tまで減少したことから、これまでの取組について一定程度の成果を得られているものと評価できる。また、業績評価指標「環境講座への参加者数」、「環境啓発イベントにおける来場者数」は目標値以上の参加者数を確保することができ、結果として、市民一人ひとりの環境に対する意識の醸成につながり、成果指標 47「日常生活において、環境に配慮している市民の割合」についても、基準値56.6%（H20）から最終実績値68.5%まで増加し、最終目標を達成することができた。

これらの結果を踏まえると、基本目標である「やすらぎと潤いがあふれる環境共生都市」の実現に貢献できたものと考えられ、今後の「未来へつなぐ さがみはらプラン」においても、引き続き、「温室効果ガスの削減と気候変動への適応」や「環境を守る体制の充実」に取り組むことで、地球環境にやさしい社会を実現し、「人と自然が共生するまち」の実現に向けた施策展開を行っていく。

政策の基本方向 1 2		限りある資源を大切に作る循環型社会をつくります
構成する施策	2 6	資源循環型社会の形成
	2 7	廃棄物の適正処理の推進

< 施策の総合評価結果の推移 >

No.	評価	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
施策 2 6	1 次	A	B	B	B	B	B	B	A	B
	2 次	A	B			B			A	
施策 2 7	1 次	A	B	A	A	A	A	A	A	A
	2 次	B	B			A			A	

< 成果指標の目標と実績 >

施策	指標	指標と説明				
26	48	市民 1 人 1 日あたりの家庭ごみ排出量 (g) 家庭におけるごみの排出量の状況を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		631	490.0	491.1	99.8%	B
26	49	リサイクル率 (%) ごみの資源化率の状況を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		18.1	25.0	19.6	78.4%	C
26	50	ごみ総排出量 (t) ごみの総排出量の状況を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		272,000	225,964	226,976	99.6%	B
27	51	市内で発生するごみが、市焼却施設及び最終処分場で処理される割合 (家庭ごみ) (%) 廃棄物が適正に市内で処理されている状態を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		100.0	100.0	100.0	100.0	A
27	52	ポイ捨て、不法投棄を防止し、まちの美観が保たれていると感じる市民の割合 (%) まちの美化が保たれた状態を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		62.9	73.0	74.2	101.6%	A

< 業績評価指標の目標と実績 >

施策	指標	指標と説明				
26	26-1	街頭 PR による周知人数、講座等啓発活動参加人数 (人) 市民意識の醸成を図っていることを示す指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		33,000	33,000	37,331	113.1%	A

26	26-2	中小事業所の戸別訪問指導件数（件）				
		中小事業所への廃棄物の適正処理等についての訪問指導の件数				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		2,936	3,200	2,801	87.5%	B
27	27-1	一般ごみ収集運搬業務の民間委託割合（％）				
		収集ごみの量に占める委託による収集ごみの割合を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		30	50	50	100.0%	A
27	27-2	不法投棄撲滅キャンペーン参加人数（人）				
		不法投棄撲滅キャンペーン（津久井地域不法投棄防止協議会と共催）への参加人数を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		地域事業へ協議会として参加して啓発活動を行う方針としたため、H30以降の実績はなし。				

<総合評価>

限りある資源を大切にす資源循環型社会の実現に向けて、啓発活動に力を入れて取り組んだ結果、業績評価指標「街頭PRによる周知人数、講座等啓発活動参加人数」は、目標値33,000人を毎年度達成し続けており、最終実績値も37,331人と達成率113.1%と目標値を大きく上回る成果を得られた。一方で、成果指標48「市民1人1日あたりの家庭ごみ排出量」及び成果指標50「ごみ総排出量」は最終目標にはわずかに届かなかった。この要因としては、家庭ごみについては、排出されたごみの約30%は資源化が可能な紙類やプラ製容器包装等であり、分別の徹底がなされていないことと考えられる。また、毎年減少していた家庭ごみ排出量が令和元年度に増加してしまったが、令和元年度末にかけての新型コロナウイルス感染症拡大の影響による外出自粛などの生活スタイルが変わり始めたことが要因と考えられる。事業系ごみについても家庭ごみ同様に、資源化できるものを適正に分別せずに排出されてしまったことが多少なりとも影響したと考えられるが、家庭ごみ総排出量は基準値から約23%、ごみ総排出量は基準値から約17%の割合で削減できており、一定の成果を得られているものと評価できる。

また、成果指標49「リサイクル率」については、基準値18.1%（H18）から最終実績値19.6%と微増という結果であり、最終目標25.0%に対する達成率は78.4%であった。これは、びん類やかん類など資源の回収量の減少が影響しており、社会的な要因として、びん・かん容器がペットボトル容器へ移行したことによる軽量化、書籍等の電子化に伴う紙類の減少などが考えられる。しかし、指標としていないが「ペットボトル等プラ製容器包装の回収量」は年々増加していることから、資源循環型社会の形成が推進された結果と捉えることができる。

さらに、成果指標51「市内で発生するごみが、市焼却施設及び最終処分場で処理される割合」及び成果指標52「ポイ捨て、不法投棄を防止し、まちの美観が保たれていると感じる市民の割合」は、いずれも最終目標値を達成していることから、廃棄物の適正処理に向けた、前出の啓発活動を中心とした美化推進・不法投棄防止対策事業が十分な成果を上げているものと評価できる。

これら結果を踏まえ、今後も社会情勢や生活スタイルの変化にあわせた施策を推進し、引き続き資源循環都市として、市民・事業者・行政が連携した取組を行っていく。

政策の基本方向 1 3		恵み豊かな自然環境を守り育てます
構成する施策	2 8	水源環境の保全・再生
	2 9	人と自然が共生する環境の形成

< 施策の総合評価結果の推移 >

No.	評価	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
施策 1	1 次	B	B	B	B	B	B	B	B	B
	2 次	B	B			B			B	
施策 2	1 次	A	A	B	A	A	A	A	A	A
	2 次	A		B			A			A

< 成果指標の目標と実績 >

施策	指標	指標と説明				
28	53	管理された森林面積の割合（水源の森林づくり事業）（％） 森林環境が守られている状態を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		37.5	84.5	70.2	83.1	B
28	54	市域から津久井湖に流入するチッソ・リンの削減量（kg/日） 市内の湖の水質が良好に保たれている状態を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		チッソ - リン -	チッソ 269 リン 33	チッソ 139 リン 17	チッソ 51.7% リン 51.5%	D
29	55	緑地率（％） 緑地が保全されている状態を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		67.5	67.5	67.2	99.6%	B
29	56	水辺やみどりに親しめる場が十分であると感じる市民の割合（％） 市民が水辺とみどりに親しめる機会がある状態を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		80.7	86.0	87.5	101.7%	A

< 業績評価指標の目標と実績 >

施策	指標	指標と説明				
28	28-1	高度処理型浄化槽の設置数（基） 市内の湖の水質改善を図るため、高度処理型浄化槽の設置数をみる指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		200	200	102	51.0%	D
28	28-2	高度処理型浄化槽設置に関する営業件数（件） 高度処理型浄化槽の設置台数を増やすため、設置に向けた営業を行った件数をみる指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		120	120	140	116.7%	A

29	29-1	市民協働による緑地・河川敷の維持管理面積 (ha)				
		市民協働による緑地・河川敷の維持管理面積を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		107	107	110	102.8%	A
29	29-2	緑地や水辺環境の保全等に関する市条例による指定地域の箇所数 (箇所)				
		里地里山の保全等の促進に関する条例及びホテル舞う水辺環境の保全等の促進に関する条例による指定地域の指定状況を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		3	7	6	85.7%	B

< 総合評価 >

恵み豊かな自然環境を守り育てるため、森林環境や緑地、水辺環境の保全等に取り組んできた。良質で安定的な水を将来にわたり確保するため、水源の森林エリアにおける協力協約等による森林整備を進めてきたが、成果指標 53「管理された森林面積の割合」については、最終目標 84.5% に対し、実績値 70.2%と達成率 83.1%という結果であった。しかし、この 10 年間で管理された森林面積の割合は、基準値 37.5% (H20) から、30 ポイント以上増加しており、確実に取組の成果が表れていると考えられる。また、成果指標 55「緑地率」についても、達成率 99.6%と概ね目標を達成するとともに、成果指標 56「水辺やみどりに親しめる場が十分であると感じる市民の割合」は目標値を上回る実績であることから、各種取組の成果は得られており、基本目標の達成に貢献できたものと考えられる。

一方で、成果指標 54「市域から津久井湖に流入するチッソ・リンの削減量」については、達成率が概ね 50%程度であり目標の達成には至らなかった。そこで、「高度処理型浄化槽の設置数」や市職員による「高度処理型浄化槽設置に関する営業件数」という新たな業績評価指標を設定し、チッソ・リンの削減に向けて努力してきたが、浄化槽設置は個人の申請によるものであり、経済的な負担などの理由により結果としては目標の達成には至らなかったため、「新・相模原市総合計画」に基づく施策推進を踏まえ、引き続き、生活排水の適正な処理に取り組んでいく。

一部目標の達成には至らなかったものの、本政策が目指す、水源地域の豊かな自然や市街地の貴重なみどり、河川等の水辺環境の保全・再生・創出を行い、多様な生物の生息・生育環境の確保を進めるとともに、市民・県民の生活と産業を支える水資源の保全に貢献することができたと考えられる。

今後については、これまでの取組を踏まえ、「未来へつなぐ さがみはらプラン」における、恵み豊かな自然環境を守り育てるという考えのもと、水源環境と森林環境の保全・再生・活用、生物多様性の保全と活用に取り組むことで、人と自然が共生するまちを目指していく。

政策の基本方向 1 4		人にやさしい快適な生活環境をつくります
構成する施策	3 0	生活環境の保全
	3 1	快適な都市空間の創造

< 施策の総合評価結果の推移 >

No.	評価	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
施策 3 0	1 次	A	B	A	A	A	A	A	A	A
	2 次	A		A			A			A
施策 3 1	1 次	B	B	B	B	B	B	B	B	B
	2 次	B			B			B		

< 成果指標の目標と実績 >

施策	指標	指標と説明				
30	57	大気・水質規制基準適合率（％） 事業所等が規制基準を遵守している状態を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		93.5	96.5	93.4	96.8％	B
30	58	調査測定地点環境基準適合率（％） 一般環境（大気・水質）が環境基準を満たしている状態を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		85.6	88.6	89.3	100.8％	A
31	59	市街地、公共施設等における緑化満足度（％） 市街地における緑化が進んでいる状態を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		78.7	84.0	88.4	105.2％	A
31	60	緑化活動に取り組む市民の割合（％） みどりを増やす活動を行う市民の割合を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		8.6	14.0	6.1	43.6％	D
31	61	公園の満足度（％） 市民の憩いの場としての公園が整備されているかを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		78.1	88.0	82.4	93.6％	B

< 業績評価指標の目標と実績 >

施策	指標	指標と説明				
30	30-1	環境関係法令に基づく立入検査総数（件） 環境関係法令による指導等のために、年度ごとに定める立入計画に基づく工場・事業所への立入検査				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		117	129	130	100.8％	A

30	30-2	合流改善事業整備進捗率（％）				
		公共下水道合流区域における分流化整備完了進捗率を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		40.9	63.3	63.3	100.0%	A
31	31-1	屋上緑化・壁面緑化・駐車場緑化の設置面積（㎡）				
		みどりのまちづくり奨励金交付要綱に基づき設置する屋上緑化・壁面緑化・駐車場緑化の面積を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		1,580	2,450	1,889	77.1%	C
31	31-2	市民緑化事業の花苗などの配布団体数（団体）				
		自治会など地域の緑化を担う団体に花苗などを配布する花のみどりづくり・みどりいっぱい運動の団体数を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		269	311	276	88.7%	B
31	31-3	都市公園の供用開始数（箇所）				
		都市公園の供用開始を行った数を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		-	6	22	366.6%	A

< 総合評価 >

人にやさしい快適な生活環境の実現に向け、生活環境の保全として、大気、水質、騒音等の状況を調査するとともに、年度ごとに定める立入計画に基づく事業所等への立入調査等を着実に実施してきた。成果指標 57「大気・水質規制基準適合率」は、事業所等の基準違反が複数あったことから最終達成率が約 97%にとどまったものの、成果指標 58「調査測定地点環境基準適合率」は、基準値の 85.6%（H20）から最終実績値 89.3%まで増加し、最終目標を達成した。

また、快適な都市空間の創造として、民有地の緑化や公共施設の緑化を推進するとともに、パークマネジメントプランの推進などを実施してきた。成果指標 60「緑化活動に取り組む市民の割合」は、地域の団体活動に対する支援や緑化に関する講習会の開催による市民への普及啓発等を実施してきたが、高齢化による担い手の減少やライフスタイルの変化などの身近な参加の機会が失われたことにより、最終目標達成率は、約 44%に留まるという結果であった。一方で、成果指標 61「公園の満足度」は、新規の公園整備や区域拡大といった「量」の向上に加え、より使いやすい公園を目指す「質」の向上にも取り組んできた結果、最終目標達成率は約 94%にとどまったものの、基準値 78.1%（H20）から最終実績値 82.4%まで増加し、成果指標 59「市街地、公共施設等における緑化満足度」も基準値 78.7%（H20）から最終実績値 88.4%まで増加し、最終目標を達成した。

これらの結果を踏まえると、基本目標である「やすらぎと潤いがあふれる環境共生都市」の実現に貢献できたものと考えられ、今後、「未来へつなぐ さがみはらプラン」においても、引き続き「生活環境の保全」や「公園や身近な自然の適正な管理・利活用と都市緑化の推進」に取り組むことで、やすらぎと潤いがあふれる生活環境を実現し、「人と自然が共生するまち」の実現に向けた施策展開を行っていく。

政策の基本方向 1 5		地域経済と雇用を支える産業を振興します
構成する施策	3 2	雇用対策と働きやすい環境の整備
	3 3	地域経済を支える産業基盤の確立
	3 4	新産業の創出と中小企業の育成・支援
	3 5	商業・サービス業の振興
	3 6	都市農業の振興
	3 7	魅力ある観光の振興

< 施策の総合評価結果の推移 >

No.	評価	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
施策 3 2	1 次	B	B	B	B	B	A	A	A	A
	2 次	C	B	B			A			A
施策 3 3	1 次	A	A	A	B	B	B	B	B	A
	2 次	B	A	A		B			B	
施策 3 4	1 次	A	B	B	B	A	A	A	A	A
	2 次	B			B			A		
施策 3 5	1 次	B	B	B	A	A	B	B	A	A
	2 次	B			A			B		
施策 3 6	1 次	B	B	B	B	B	B	B	B	B
	2 次	B	B	B		B			B	
施策 3 7	1 次	B	B	B	B	B	A	B	B	B
	2 次	B					A			C

< 成果指標の目標と実績 >

施策	指標	指標と説明				
32	62	有効求人倍率（倍） 雇用を求めている市民が職を得ている状態を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		0.65	1.00	1.08	108.0%	A
32	63	ワーク・ライフ・バランスを考えた福利制度を導入している中小企業の割合（％） 市内企業が働きやすい環境整備を進めている状態を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		育児・介護休業法の改正により、平成24年7月1日から全事業所に子が3歳に達するまでの短時間勤務制度が義務付けられるなど、目標設定の状況が変わったため、指標としては用いない。				
33	64	製造品出荷額等（百万円） 市内の製造業が振興している状態を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		1,606,435	1,610,000	-	-	-

34	65	新規の開設事業所数（事業所） 市内で新たな事業者が生まれているかを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		1,082	1,932	2,598	134.5%	A
34	66	経営安定の中小企業数（黒字申告をした企業数）（社） 市内の事業者の経営状況を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		3,674	3,870	4,223	109.1%	A
35	67	小売業年間販売額（商品販売額）（百万円） 市内の商業が振興している状態を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		613,231	555,811	-	-	-
36	68	農用地区域内における耕作地面積の割合（％） 農業を振興すべき農地が保全・活用されている状態を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		89.8	100.0	94.8	94.8%	B
36	69	市内農業生産量（t） 地産地消のもととなる市内の農業生産量の推移を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		25,342	27,900	16,998	60.9%	C
37	70	入込観光客数（万人） 市内に観光に訪れる人が増えている状態を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		1,000	1,500	1,163	77.5%	C
37	71	1人あたりの観光客消費額（円） 観光客による市内での消費額が増えている状態を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		694	1,500	1,316	87.7%	B

< 業績評価指標の目標と実績 >

施策	指標	指標と説明				
32	32-1	相模原市総合就職支援センター利用者の進路決定率（％） 相模原市総合就職支援センターの利用者のうち、就職・就学に至った割合を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		27.7	28.3	23.5	83.0%	B
32	32-2	相模原市仕事と家庭両立支援推進企業表彰へのエントリー数（社） 表彰へのエントリー数からワーク・ライフ・バランス推進への意識をみる指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		2	3	3	100.0%	A

33	33-1	企業立地に係る事業計画認定数（件）				
		市内立地に係る計画が認定されることで、当該立地計画に基づく市内の産業集積の促進状況を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		7	10	9	90.0%	B
33	33-2	中小製造業技術者育成支援事業等により支援した人数（件）				
		技術者育成を目的に実施している中小製造業技術者育成支援事業等により支援した人数				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		111	111	118	106.3%	A
34	34-1	創業相談会参加者数（人）				
		市内における創業に向けた動きを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		163	170	171	100.6%	A
34	34-2	ものづくり企業総合支援事業の相談数（件）				
		産業振興財団のものづくりアドバイザーによる個別企業支援件数				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		509	500	524	104.8%	A
35	35-1	橋本駅周辺地区、相模原駅周辺地区及び相模大野駅周辺地区の通行量（人）				
		中心市街地のにぎわいを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		交通量調査の次回調査は令和2年度であるため、実績値無し。				
35	35-2	商店会が実施した活性化に係る事業数（件）				
		地域に根ざした商店街において、商業者が実施したイベント等活性化事業の数				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		62	62	74	119.4%	A
36	36-1	新規就農者の人数（人/累計）				
		今後の新たな担い手として耕作面積を確保できる新規就農者の人数				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		16	85	74	87.1%	B
36	36-2	JA 農産物直売所の来客者数（千人）				
		市内産農産物に興味を持つ市民の動向を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		267	279	320	114.7%	A
37	37-1	アンテナショップ（sagamix）の販売実績（％）				
		相模原市の特産品を扱うアンテナショップ（sagamix）の売上の動向を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		100.0	200.0	233.1	116.6%	A

37	37-2	観光人材育成研修の参加者（％）				
		観光事業促進に向けた人材育成の動向を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
授業形式で研修を実施していたが、地域の観光振興を牽引する人材の育成につながるような事業の再検討を行うこととし、当該人材育成研修を実施しなかったため、H29以降の実績はなし。						
37	37-3	相模原市観光協会ホームページアクセス数（％）				
		相模原市の観光や行事に興味のある人の動向を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
100.0 275.0 128.8 46.8％ D						

<総合評価>

地域経済と雇用を支える産業を振興するため、新たな成長産業の創出や商業・サービス業・農業・観光など、地域経済や雇用を支える産業の発展を推進してきた。

雇用対策については、相模原市総合就職支援センターにおけるキャリアカウンセリングや職業紹介による就職支援のほか、仕事と家庭両立支援推進企業表彰により市内企業に対してワーク・ライフ・バランスの実現に向けた意識の醸成を行うなど、雇用機会の確保、市民が生きがいとゆとりを持って仕事ができる社会の実現という施策のめざす姿の実現に向けて取組を推進してきた。成果指標 62「有効求人倍率」は、平成28年度に最終目標値である1.00倍を達成し、以降一貫して最終目標値を上回る達成率で推移、最終実績値も1.08倍という結果であったことから、雇用対策分野においては、十分な取組成果があげられたものと評価できる。

産業振興施策としては、企業立地施策の推進により、市外企業の新規立地や市内企業の再投資を後押ししてきた。成果指標 64「製造品出荷額」は基準値である1,606,435百万円（H19年）を維持することを目標としていたが、平成30年度実績（R1年度最終実績はR3年度に捕捉）は、1,401,787百万円と、達成率は90.5%という結果であった。しかしながら、H26年度以降は5年連続で製造品出荷額が増加し、H25の1,144,787百万円と比較すると約1.2倍という結果であり、中小製造業技術者育成支援事業などの効果が一定程度現れているものと評価できる。また、市内中小企業支援策として「創業相談会」や「ものづくり企業総合支援事業」を実施し、市内中小企業の課題に合致した補助金及び専門家の紹介並びに補助金申請書の作成相談などをきめ細やかに行うことで、業績評価指標とした「創業相談会参加者数」、「ものづくり企業総合支援事業の相談数」は共に目標を達成し、さらに成果指標 65「新規の開設事業所数」及び成果指標 66「経営安定の中小企業数」についても、最終目標を達成しており、十分な成果が得られたものと評価する。

商業振興施策としては、商店街が実施するハード整備・ソフト事業への支援や、百貨店及び大学などと連携して実施した学生開発商品の販売や相模原駅周辺・西門地区の景観デザイン検討などにより、業績評価指標「商店会が実施した活性化に係る事業数」は、H27からの5年間で310件という目標に対して、最終実績は345件と目標値を大きく上回る成果であり、商業振興に寄与したものと評価している。

農業振興施策では、神奈川農業アカデミーでの就農相談会に参加するなど新規就農者の確保に取り組んでいるものの、県央全体での就農相談が減少傾向であり、業績評価指標「新規就農者の人数」は、最終目標に対する達成率が87.1%と目標に達しなかった。成果指標 68「農用地区域内における耕作地面積の割合」についても、最終目標である100%は達成することができなかったが、耕作放棄地の解消事業や農業生産基盤整備事業により、基準値である89.8%から最終実績

94.8%と5ポイントの増となっており、一定の効果が現れていることから、今後も引き続き取組を推進していく必要がある。また、市内産農畜産物のPRに取り組む「地産地消」の推進を図ってきたが、成果指標69「市内農業生産量」は最終目標に対する達成率は60.9%と十分な効果を得ることが出来なかった。主な要因としては、農家の高齢化や後継者不足による市内生産量の減少などが考えられることから、引き続き、農業後継者や新規就農者、次代の農業を担う農業者の育成や支援に向けた取組を推進していく必要がある。一方で、業績評価指標「JA農産物直売所の来客者数」は毎年目標値に達しており、最終目標に対する達成率は114.7%と、市民が市内産農畜産物を選択する機会の増加については十分な成果を得られたものと評価できる。

観光振興施策として、アンテナショップ(sagamix)の支援事業を実施し、市内の観光資源や特産品を効果的にPRできたことで、業績評価指標「アンテナショップの販売実績」の最終目標200%に対し、最終実績値233.1%と達成率が116.6%と目標を大きく上回る成果を上げることができた。しかしながら、成果指標70「入込観光客数」については、天候不順による大型イベントの中止などの外的要因が影響し、特に、昨年度は令和元年東日本台風の影響により登山・ハイキング客を中心とした入込観光客数が減少し、目標を達成することはできなかった。さらに、成果指標71「1人あたりの観光客消費額」についても、最終目標値1,500円に対し、最終実績は1,316円と達成率は87.7%という成果であった。しかしながら、基準値である694円からは伸び率約190%という成果であり、一定の成果は認められるため、引き続き、観光協会の組織・機能の強化支援等に取り組んでいく必要がある。

今後は、新・相模原市総合計画での取組の成果を踏まえつつ、今後は、圏央道インターチェンジ周辺地区の拠点整備及びりニア中央新幹線駅の設置といった機会や既存の豊かな自然を生かしながら、工業、農業、商業、観光など様々な産業分野の振興と新産業の創出に取り組み、市内経済の活性化と雇用の創出に取り組んでいく。

基本目標 活力にあふれ多様な交流が生まれる広域交流拠点都市

政策の基本方向 1 6	地域の特徴を生かした土地利用を進めます
構成する施策	3 8 計画的な土地利用の推進

< 施策の総合評価結果の推移 >

No.	評価	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
施策 3 8	1 次	A	A	A	B	B	A	A	A	B
	2 次	A	A	B				A		

< 成果指標の目標と実績 >

施策	指標	指標と説明				
38	72	特定保留区域の市街化編入率（％） 都市的土地利用が計画的にされているかを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		0.0	100.0	38.7	38.7%	D
38	73	自然的土地利用を図るべき地域の面積（ha） 自然的土地利用が計画的にされているかを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		12,906	12,906	12,906	100.0%	A

< 業績評価指標の目標と実績 >

施策	指標	指標と説明				
38	38-1	地区計画の決定及び建築協定の認可等区域の面積（ha） 地区計画や建築協定等の区域の増加を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		529.3	645.1	672.9	104.3%	A
38	38-2	市街化区域内農地の面積に占める生産緑地地区面積の割合（％） 市街化区域内にある農地のうち、生産緑地地区に指定されている農地の割合を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		47.9	50.0	47.7	95.4%	B
38	38-3	特定保留区域における土地区画整理事業又は地区計画策定面積（ha） 特定保留区域における市街化区域編入の進捗を図る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		41.0	86.7	86.7	100%	A

< 総合評価 >

地域の特徴を生かした土地利用を進めるため、土地利用方針に基づき、集約型の都市構造による投資効率の高いまちづくりを進めるとともに、自然環境に配慮しながら産業や住宅の適切な誘導を図ってきた。

成果指標 72「特定保留区域の市街化編入率」について、特定保留区域の花ヶ谷戸地区（当麻地区）について、土地区画整理事業による計画的な市街地整備の見通しが明らかになったことから、

市街化区域への編入及び地区計画の策定を行うことができたが、当麻地区及び麻溝台・新磯野地区の市街化区域編入予定の後続地区においては、市街化区域編入の前提となる土地区画整理事業等の事業化に向けた課題を整理する必要性があるため、最終目標を達成することはできなかった。今後の地元調整等と併せて市街化区域編入に向けた取組を進める。

また、成果指標 73「自然的土地利用を図るべき地域の面積」及び業績評価指標「地区計画の決定及び建築協定の許可等区域の面積」、「特定保留区域における土地区画整理事業又は地区計画策定面積」については、目標を達成することができたことから、適切な土地利用・規制誘導施策を推進することができたと評価できる。

政策の基本方向 17		魅力あふれる質の高い都市をつくります
構成する施策	39	広域交流拠点都市にふさわしい都市拠点の形成
	40	新たな産業拠点の形成と地域の拠点の活性化

< 施策の総合評価結果の推移 >

No.	評価	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
施策 39	1次	A	A	A	A	B	A	A	A	A
	2次	B		B			A			A
施策 40	1次	A	A	B	B	B	A	A	A	C
	2次	A		B			A			C

< 成果指標の目標と実績 >

施策	指標	指標と説明				
39	74	市内3拠点の駅乗降客数(人) 本市の拠点性の状況を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		379,604	416,000	414,231	99.6%	B
40	75	インターチェンジ周辺の企業立地件数(事業所) 新たな産業拠点が形成されているかを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		-	23	14	60.9%	C

< 業績評価指標の目標と実績 >

施策	指標	指標と説明				
39	39-1	相模大野駅周辺の通行量(人) 相模大野駅周辺地区の賑わい・活況を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		108,475	114,200	-	-	-
39	39-2	市道すずきの小山の宮下本町1丁目1番地近辺における路線価(%) 路線価の上昇により当該地区の魅力、需要の高まりを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		92.3	100.0	96.3	96.3%	B
40	40-1	土地区画整理事業等における使用収益開始面積(ha) 企業立地が可能となった土地の面積を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		4.89	27.8	17.1	61.5%	C

< 総合評価 >

魅力あふれる質の高い都市をつくるため、橋本・相模原・相模大野駅周辺の3拠点の整備に取り組むとともに、新たな産業拠点の形成等に取り組んできた。

成果指標74「市内3拠点の駅乗降客数」については、目標値である416,000人を若干下回っているが、過去10年間を通してみると、基準値379,604人(H20)から増加傾向にあり、最終実績

値は 414,231 人まで増加していることから、取組の成果は得られているものと評価できる。最終実績値が目標を達成できなかった背景には、令和元年度の新型コロナウイルス感染症拡大の影響により事業者全体の乗降客数が下がっていることが要因として考えられる。

また、当麻地区整備促進事業、川尻大島界地区整備促進事業及び麻溝台・新磯野地区整備促進事業等において、土地区画整理事業等により新たな都市づくりの拠点の形成を推進してきたが、成果指標 75「インターチェンジ周辺の企業立地件数」及び業績評価指標「土地区画整理事業等における使用収益開始面積」については、麻溝台・新磯野第一整備地区土地区画整理事業の施行地区内から大量の地中障害物が発出したこと等により、事業の推進が困難な状況となり、最終年度の目標値を達成することができなかった。しかしながら、当麻地区整備促進事業及び川尻大島界地区整備促進事業では目標値を達成し、着実に取組の成果が発揮されており、基本目標の達成に貢献できたものと考えられる。

「新・相模原市総合計画」に基づく施策推進を踏まえ、「未来へつなぐ さがみはらプラン」では、市街地整備の推進と拠点の形成・活性化に向け取組を進めるとともに、首都圏南西部における広域交流拠点の形成という考え方のもと、橋本・相模原両駅周辺地区の整備推進に取り組んでいく。

政策の基本方向 1 8		都市を支える交通基盤をつくります
構成する施策	4 1	広域的な交流を支える交通体系の確立
	4 2	地域を支える交通環境の充実
	4 3	公共交通を中心とする交通体系の確立

< 施策の総合評価結果の推移 >

No.	評価	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
施策 4 1	1 次	A	A	A	B	A	A	A	A	B
	2 次	A			B			A		
施策 4 2	1 次	A	A	A	B	B	A	A	A	B
	2 次	A			B			A		
施策 4 3	1 次	A	A	A	A	A	A	A	A	A
	2 次	A			A			A		

< 成果指標の目標と実績 >

施策	指標	指標と説明				
41	76	市内 3 拠点から市外主要都市駅までの鉄道の所要合計時間の短縮（片道）（分） 鉄道による市内外の行き来のしやすさを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		-	134	192	143.3%	A
41	77	市役所から市内外主要地点までの自動車での合計移動時間の短縮（片道）（分） 自動車による市内外の行き来のしやすさを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		-	104	118	113.5%	A
42	78	市内主要地点間の所要時間合計（片道）（分） 市内での移動のしやすさを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		1,507	1,429	1,417	100.8%	A
42	79	市域面積(国定公園及び水面・河川敷の面積を除く)に対する公共交通力パー率(%) 身近に公共交通の利用環境があるかを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		58.0	61.3	61.7	100.7%	A
43	80	人口規模に対する公共交通の利用割合(%) 公共交通を利用する市民の状況を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		56.9	60.7	59.3	97.7%	B

< 業績評価指標の目標と実績 >

施策	指標	指標と説明				
41	41-1	国県道整備事業の実施事業数（事業）				
		相模原市新道路整備計画における国県道整備事業の進捗度を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		6	13	9	69.2%	C
42	42-1	自転車と歩行者の通行区分が分離されている道路の整備済延長（km）				
		自転車と歩行者の通行区分を分離する整備がされているかどうかを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		5.6	12.5	11.9	95.2%	B
42	42-2	市道整備事業の実施事業数（事業）				
		相模原市新道路整備計画における市道整備事業の進捗度を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		7	13	9	69.2%	C
42	42-3	橋りょうの修繕・更新実施数（橋）				
		橋りょう長寿命化事業の進捗度を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		4	22	4	18.2%	D
43	43-1	放置自転車等の台数（台）				
		市内14箇所の放置禁止区域内における、毎年5月の平日の午後2時から3時までの放置自転車等の台数				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		955	366	173	211.6%	A

< 総合評価 >

都市を支える交通基盤をつくるため、利便性の高い公共交通網や道路ネットワークの充実等の取組を推進してきた。

具体的には、広域交通ネットワークの形成に向け、小田急多摩線の延伸に取り組み、収支採算性などの課題解決を図るため、関係自治体等と連携して調査検討を行い、また、地域を結ぶ公共交通網の整備に向けては、バス路線のさらなる利便性向上に向けた取組や、生活交通バス路線の維持確保、コミュニティバス・乗合タクシーの運行を継続したほか、篠原地区及び菅井地区においてデマンド交通の実証運行を開始した。

公共交通利用促進事業としては、公共交通の利便性の向上や鉄道輸送力増強に向けた要望活動・啓発活動などを実施するとともに、バス総合案内システムやバスターミナルの整備を行ったほか、ノンステップバス等の導入に対し補助金を交付し、公共交通のバリアフリー化に努めた。また、公共交通への利用転換を図るため、複数の地域においてモビリティ・マネジメントを実施するとともに、橋本駅においてはTDM（交通需要マネジメント）の実施による駅前広場の改良を行い、周辺交通環境の改善を図った。

これらの取組により成果指標については、概ね目標値を達成しており、十分に取組の成果を得られたものと評価できるが、施策を構成する事業の中には引き続き取組を要するものもあることから、「未来へつなぐ さがみはらプラン」に基づき、取組を推進していく。なお、成果指標 80

「人口規模に対する公共交通の利用割合」についてのみ、達成率が97.7%とわずかに目標に達しなかったが、これは新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、人との接触機会を低減することが推奨されたことが要因として考えられる。

政策の基本方向 1 9		魅力ある景観やゆとりある住環境の形成を図ります
構成する施策	4 4	魅力ある景観の保全と創造
	4 5	安全で快適な住環境の形成

< 施策の総合評価結果の推移 >

No.	評価	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
施策 4 4	1 次	A	A	A	B	A	A	A	A	A
	2 次	B	A			A			A	
施策 4 5	1 次	A	A	B	B	B	B	A	A	B
	2 次	A			B		B			B

< 成果指標の目標と実績 >

施策	指標	指標と説明				
44	81	市街地の景観が良好に保たれていると感じる市民の割合（％） 市街地における景観が良好であるかを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		72.6	80.0	81.2	101.5%	A
44	82	自然的な景観が良好に保たれていると感じる市民の割合（％） 自然的景観が良好であるかを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		87.7	90.0	94.0	104.4%	A
45	83	住環境のルールを定めている地区の数（地区） 良好な住環境が形成されている状況を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		50	62	59	95.2%	B
45	84	住宅の耐震化率（％） 地震に対する住宅の安全性を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		72.7	94.0	91.6	97.4%	B

< 業績評価指標の目標と実績 >

施策	指標	指標と説明				
44	44-1	接道緑化の延長距離（m） 景観計画に基づき接道緑化された延長				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		5,071	11,000	11,013	100.1%	A
45	45-1	戸建て住宅の耐震診断補助申請件数（件） 専門家による現地耐震診断の補助申請の件数				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		49	50	16	32.0%	D

45	45-2	マンション管理セミナー参加者数(人)				
		分譲マンションの適切な維持管理を支援するために開催するセミナーの参加者数				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		49	50	59	118.0%	A

<総合評価>

魅力ある景観やゆとりある住環境の形成に向け、各地域の個性を生かしたまちなみの形成や環境に配慮した安全で安心な住まい・まちづくりに取り組んできた。

魅力ある景観の形成に向けた施策については、全ての成果指標、業績評価指標について最終目標を達成しており、取組などの成果が十分に得られているものと評価できる。

市街地の景観形成については、一定規模以上の大規模な建築物等に対して色彩や接道緑化等の景観形成に係る指導を行った結果、成果指標 81「市街地の景観が良好に保たれていると感じる市民の割合」は基準値 72.6%(H20)から最終実績 81.2%と 8.6 ポイントの上昇という成果であった。また、自然的景観の保全については、旧津久井 4 町との合併を期に、年を追うごとに都市住民が山や湖をはじめとする自然景観をより身近に感じるようになってきたものと考えられ、景観づくりへの関心を高めるための普及啓発の効果が現れた結果として、成果指標 82「自然的な景観が良好に保たれていると感じる市民の割合」について、基準値 87.7%(H20)から最終実績 94.0%と 6.3 ポイントの上昇という成果であった。

一方で、安全で快適な住環境の形成に向けた施策については、成果指標 83「住環境のルールを定めている地区の数」の達成率は 95.2%、成果指標 84「住宅の耐震化率」の達成率は 97.4%という結果であり、最終目標にわずかに届かないという結果であった。しかし、「住環境のルールを定めている地区の数」については、街づくり団体に対し専門家である街づくりアドバイザーの派遣等の支援をしたことなどにより、着実に実績を積み上げることができた。また、「住宅の耐震化率」についても、最終実績値は 91.6%であり、基準値 72.7(H18)から約 19 ポイントも上昇させるなど、既存住宅・建築物耐震化促進事業などの効果として、一定の成果が得られているものと評価できる。

政策の基本方向 2 0		基地全面返還の実現をめざします
構成する施策	4 6	基地の早期返還の実現

< 施策の総合評価結果の推移 >

No.	評価	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
施策 4 6	1 次	B	B	A	A	A	A	A	A	A
	2 次	B	B	A			A			A

< 成果指標の目標と実績 >

施策	指標	指標と説明				
46	85	基地の存在が日常生活において支障があると感じる市民の割合（％） 基地の存在が日常生活において支障があるかどうかを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		42.0	30.0	36.2	82.9%	B

< 業績評価指標の目標と実績 >

施策	指標	指標と説明				
-	-	-				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		-	-	-	-	-

総合評価

基地全面返還の実現に向け、市米軍基地返還促進等市民協議会と共に行う要請活動や加盟する各基地関連協議会の活動により、市内米軍基地の返還促進を推進してきた。

相模総合補給廠においては、平成26年度の一部返還、平成27年度の共同使用開始に続き、南北道路及び東西道路の暫定供用開始並びに管理受託部分の一般利用の開始により、少しずつではあるが着実に返還が実現されていることから、基地の存在を支障があると感じる市民の割合が徐々に減少しているものと考え、成果指標85「基地の存在が日常生活において支障があると感じる市民の割合」については、達成率82.9%と、目標値に達するまでには至らなかった。

目標値に達するまでには至らなかった要因に、米軍ヘリコプターの訓練による騒音被害や市民に不安を与えるような訓練・演習、物資の備蓄等が挙げられると考える。本年11月に、相模総合補給廠共同使用区域内の都市公園の一部供用が開始され、都市公園の市民利用が始まったことにより、基地の返還・共同使用をより確実に市民が実感することにつながるものと考え、今後においても「新・相模原市総合計画」に基づく施策推進を踏まえ、「未来につなぐ さがみはらプラン」においても、市米軍基地返還促進等市民協議会と共に、国及び米軍に対して、市民に騒音による被害・不安をもたらすヘリコプター訓練や演習、物資の備蓄等を行わないよう引き続き求めるとともに、返還4事案を始めとする更なる市内米軍基地の返還又は共同使用を要請し、市内米軍基地の早期返還の実現を目指す。

基本目標 市民とともに創る自立分権都市

政策の基本方向 2 1		個性豊かな地域コミュニティをつくります
構成する施策	4 7	分権型のまちづくりの推進
	4 8	皆で担うまちづくりの推進

< 施策の総合評価結果の推移 >

No.	評価	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
施策 4 7	1 次	B	B	B	B	B	B	B	B	B
	2 次	B			B			B		
施策 4 8	1 次	A	A	B	B	B	B	A	B	B
	2 次	B	A			B			B	

< 成果指標の目標と実績 >

施策	指標	指標と説明				
47	86	住んでいる地域のまちづくりや課題解決を区民主体で進めていると感じる市民の割合(%) 区制により、区民主体のまちづくりができていくかを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		49.5	54.7	43.2	79.0%	C
48	87	地域活動への参加率(%) 地域団体が活発に活動しているかを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		30.4	37.4	27.0	72.2%	C
48	88	市民活動への参加率(%) 市民活動団体が活発に活動しているかを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		12.0	34.9	28.7	82.2%	B
48	89	市内のNPO法人数(団体) NPO活動が活発に行われているかを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		166	270	274	101.5%	A

< 業績評価指標の目標と実績 >

施策	指標	指標と説明				
47	47-1	区民会議及びまちづくり会議の認知率(%) 市民協働によるまちづくりを推進する仕組みを知っている市民の割合を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		32	34.4	32.9	95.6%	B
47	47-2	地域活動への参加率(成果指標【指標 8 7】)(%) 地域団体が活発に活動しているかを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		30.4	37.4	27.0	72.2%	C

48	48-1	街美化アダプト制度の実施団体数（団体）				
		地域の公園や緑地などの美化活動を行っている団体数				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		445	527	501	95.1%	B
48	48-2	さがみはら市民活動サポートセンターの利用登録団体数（団体）				
		法人格の有無を問わず、同センターに利用登録している団体の数				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		336	432	384	88.9%	B
48	48-3	ボランティア認定制度における活動認定者数（人）				
		地域活動・市民活動ボランティア認定制度において、活動実績が認められた人数（累積値）				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		-	180	230	127.8%	A

<総合評価>

個性豊かな地域コミュニティをつくるため、地域の個性が光るまちづくりを推進するとともに、地域活動の活性化や自治会、NPO活動の支援などに取り組んできた。

緑区では、緑区特設サイト「すもうよ緑区」を開設したほか、「緑区魅力づくり事業」を実施し、住民相互が交流する機会をつくとともに、緑区の魅力を区内外に発信し、中央区では、区民と協働で課題解決を目指す「中央区みらい協働プロジェクト」において、コンテンツの制作・普及や、「中央区ぶらさんぽ」など地域活動に参画する機会を創出し担い手を増やす取組を行った。また、南区では「南区若者参加プロジェクト実行委員会」の立ち上げ、「無作為抽出型区民討議会」の開催など、区民の交流を促進すると共に、区への愛着の醸成を図るなど、各区において、区政を生かしたまちづくりの実現に向けた取組を推進してきた。

しかしながら、成果指標 86「住んでいる地域のまちづくりや課題解決を区民主体で進めていると感じる市民の割合」については、基準値 49.5%（H20）から最終実績値 43.2%と 6.3 ポイントの減で達成率は 79.0%であった。これまで、区民会議やまちづくり会議について、市ホームページでのPRやノベルティグッズを使用したPR活動等を行ってきたが、事業に関わることができていない市民も多くいる現状である。また、成果指標 87「地域活動への参加率」については、基準値 30.4%（H20）から最終実績値 27.0%と 3.4 ポイントの減で達成率 72.2%であった。地域の担い手の高齢化や固定化などの課題があるため、引き続き、総合計画審議会からの「まちづくりに興味がある 20～30 代の人たちは多く、これらの世代の人たちにまちの課題を解決する意識を持ってもらえるよう、スピード感を持った区政運営に努められたい」という意見を踏まえ、若い世代を対象とした取組や、人口減少への対応、地域コミュニティの維持・強化を推進していく。一方で、成果指標 88「市民活動への参加率」については、達成率 82.2%と目標の達成には至らなかったものの、基準値である 12.0%（H20）から最終実績値は 28.7%と 16.7 ポイントの増加であり、成果指標 89「市内のNPO法人数」も目標を達成するなど、市民活動促進事業等の取組については一定の成果が得られたものと評価できる。

「未来へつなぐ 相模原プラン」においても、「新・相模原市総合計画」に基づく取組を踏まえ、地域活動・市民活動に対する理解を深め、協働に対する意識の醸成に取り組み、「皆で担う地域社会」の実現を目指していくと共に、区別基本計画推進事業や区民会議等の取組により、地域への愛着度を向上させ、区政を生かした魅力あるまちづくりを推進していく。

政策の基本方向 2 2		行政サービスの質の向上を図ります
構成する施策	4 9	行政サービス提供体制の充実
	5 0	市民と行政のコミュニケーションの充実

< 施策の総合評価結果の推移 >

No.	評価	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
施策 4 9	1 次	A	A	A	A	A	A	A	B	B
	2 次	B		B			A			B
施策 5 0	1 次	A	B	A	A	A	A	A	B	B
	2 次	B			B			B		

< 成果指標の目標と実績 >

施策	指標	指標と説明				
49	90	求めている行政サービスが、必要ときに身近な場所で受けることができていると感じる市民の割合（％） 市民にとって利用しやすい行政サービスが提供されているかを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		85.9	90.0	85.5	95.0%	B
50	91	市政に意見を言える機会や手段が備わっていると思う市民の割合（％） 市民が市政に意見を言うことができる機会や手段が整っているかを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		69.1	78.3	72.1	92.1%	B
50	92	市からの情報提供の手段や内容に満足している市民の割合（％） 市民が、市の活動を理解できるような情報提供が行われているかを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		92.5	95.0	89.8	94.5%	B

< 業績評価指標の目標と実績 >

施策	指標	指標と説明				
49	49-1	諸証明書交付の全体数に占める自動交付機等、窓口以外での交付件数の割合（諸証明：住民票、印鑑証明）（％） 諸証明書交付において、自動交付機等の利用の高まりを見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		18.6	25.0	10.4	41.6%	D
50	50-1	回答までに要する日数（日） 市民の声システムに寄せられた市民の声に対し、迅速に回答するための指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		10.7	7.0	6.1	114.8%	A
50	50-2	市ホームページ閲覧者の満足度（％） ホームページの簡易アンケート結果における肯定的な閲覧者の割合（閲覧者の満足度）を見る指標				
		基準値	目標値	実績値	達成率	評価
		75.0	77.0	77.9	101.2%	A

< 総合評価 >

行政サービスの質の向上を図るため、行政サービス提供体制の充実を図るとともに、市民と行政のコミュニケーションを活性化する取組を進めてきた。

行政サービスの提供体制に関する施策については、成果指標 90「求めている行政サービスが、必要なときに身近な場所で受けることができていると感じる市民の割合」について、目標値 90.0% に対して最終実績は 85.5%と達成率が 95.0%であった。しかしながら、マイナンバーカードの申請件数の増加やこれに比例する形でコンビニ交付件数も増加していること、さらには、コールセンターでの利用者満足度アンケートでは高い評価を得ていることなどから、行政サービスの提供体制の充実については、一定の成果は得られているものと考えられる。

市民と行政のコミュニケーションの充実に関する施策については、市民の声を聴く機会や相談機能の充実を図り、多様な広報媒体を活用して市民に情報を伝えるよう取り組んだ。

業績評価指標「回答までに要する日数」は、基準値である 10 日（H26）から 4.6 日の短縮を実現し、最終目標を達成することができたものの、成果指標 91「市政に意見を言える機会や手段が備わっていると思う市民の割合」は達成率 92.1%であり、わずかに目標値に届かないという結果であった。総合計画審議会からの「市民の声を政策に反映させる取組を検討すべき」との意見を踏まえ、「ジュニア・市政モニター」や「まちかど市長室」等を実施したが、広聴の機会や手段に対し、更なる充実が求められているものと考えられる。

また、業績評価指標「市ホームページ閲覧者の満足度」は基準値 75.0%（H26）から約 3 ポイント向上し、最終目標を達成できたものの、成果指標 92「市からの情報提供の手段や内容に満足している市民の割合」の達成度は 94.5%であった。広報さがみはらの新聞折込数の減少などに課題があったことが要因と考えられるが、総合計画審議会からの「広報手段の統合による効率化」、「アクセシビリティへの配慮」といった意見を踏まえ、ウェルネス通信の広報さがみはらへの統合や、市ホームページのアクセシビリティ向上といった施策を推進してきたほか、スマートフォンアプリや SNS の活用など、広報手段の拡充等の取組については、一定の成果が得られているものと考えている。

令和 2 年度以降の「未来へつなぐ さがみはらプラン」においても、マイナンバーカードの取得促進やコンビニ交付サービスの利用促進に取り組み、窓口の混雑解消と市民の利便性向上を目指すとともに、広聴体制の充実を図ることで市民の声をより迅速に政策に反映させ、多様な媒体を活用した迅速で効果的な情報発信により、市民が手軽に必要な情報を得られるよう取り組んでいく。

まとめ

各施策の達成度を客観的に捉えるために設定した「成果指標」の結果では、最終目標を達成できたのは、全指標のうち42.4%に留まるという結果であった。

成果指標については、進行管理を行う過程で、最終目標値を上方修正している指標もあることに加え、新・相模原市総合計画基本計画の計画期間の最終年度にあたる令和元年度には、令和元年東日本台風の被害、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受け、年度当初に想定したとおりの事業推進を行うことができなかった施策も多くあることから、10年間の取組の最終的な評価として捉え難い面もある。こうした外的要因の影響に鑑みれば、最終目標値を80%以上達成した指標が、全体の約80%にあたる74指標であったという結果は、各施策の「めざす姿」の実現に向け、一定程度の成果が得られているものと評価できる。

一方で、成果指標の最終実績値が、基準値を下回るような施策も存在する。これまで、進行管理において、各年度の目標値を達成しなかった場合には、改善策を講じるとともに、2次評価対象年度においては、総合計画審議会から改善に関する意見をいただきながら、施策推進にあたっての手法の見直しを行ってきたものの、その改善が不十分であったものと考えられる。手法の改善にあたっては、各種事業の進め方などを徐々に改善していくことも有効であろうが、時には社会経済情勢の変化を踏まえ、抜本的な見直しを行っていく必要があることから、「未来へつなぐさがみはらプラン」では、事業の実施目的に立ち返りながら、柔軟な事業見直しを行うことで、市民満足度の高い行政サービスを継続して提供していく取組が求められる。

上述のとおり、各施策の「めざす姿」の達成に向けて、施策所管局・区において着実な事業推進が図られ、一定程度の成果は得られているものと考えられるが、部局横断的な施策・事業の推進や民間活力を活用した取組については、一層の強化が求められる。相模原市まち・ひと・しごと創生総合戦略において4つの基本目標、3つの重点プロジェクトを定め、分野横断的な取組を推進してきたことで、総合計画審議会からは徐々に改善が進んでいるとの一定の評価はいただいているものの、未だ十分とは言い難いという指摘を受けてきた。「未来へつなぐ 相模原プラン」の推進にあたっては、分野横断的な取組を強化する仕組みの構築を行い、従来の枠組みに囚われることなく、創意工夫による地域特性をいかした施策の推進に努めていく。

また、「新・相模原市総合計画」の10年間の振り返りの一助にするため、令和2年6月から7月にかけて実施した「相模原市総合計画の進行管理に係る市民アンケート調査」では、「この10年間で、市で特に良くなったと思う政策分野」について設問を設けた。その結果、「ごみの適正処理」(政策の基本方向12)や「駅周辺のまちづくり」(政策の基本方向17)の分野について、多くの支持を得ており、各施策の取組の成果が市民の実感として現れていることは高く評価できると考えられる。一方で、「雇用対策・産業の振興」(政策の基本方向15)や「市民・企業・行政の協働」(政策の基本方向22)、「温暖化対策」(政策の基本方向11)については、行政活動による社会課題の改善について、市民の実感としては得られていないという結果であった。これらは、長期的な視点で取り組むべき分野であるとともに、市の取組以外の要因の影響を大きく受ける分野であることから、市民の実感が得られづらいものであると考えられるが、総合計画審議会から意見されたとおり、「暮らしやすい都市の実現は、市民の代表機関である自治体に基本的責任があり、政策努力次第で長期的に大きく変わりえるものである」という認識を強く持ち、「未来へつなぐ

さがみはらプラン」の推進にあたっては、「協働によるまちづくり」、「暮らし満足度を高めるまちづくり」、「次代につなぐまちづくり」という基本姿勢を念頭に、将来像である「潤いと活力に満ち 笑顔と希望があるれるまち さがみはら」の実現に向けた取組を進めていく。

<【市民アンケート結果】この10年間で、市で特に良くなったと思う政策分野>

